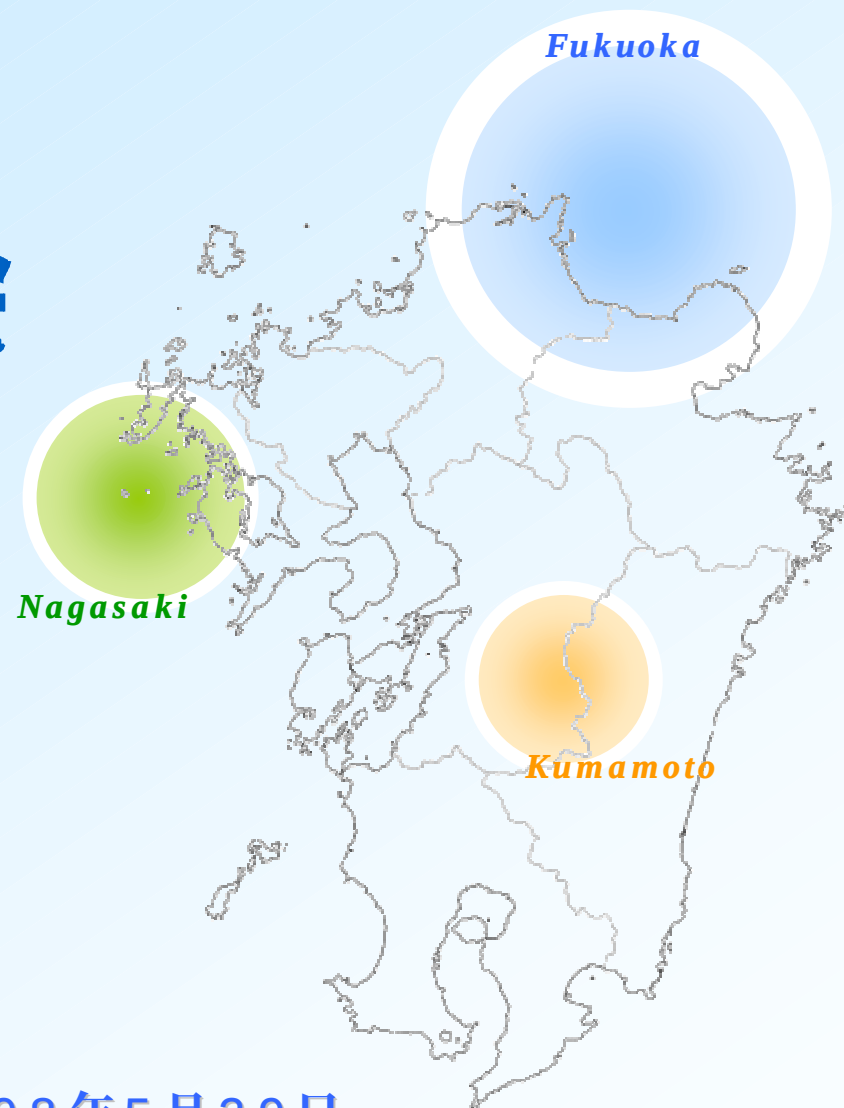


第4回

会社説明会



2008年5月29日

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ

Part I 社長プレゼンテーション

- 資金運用・調達の実績と計画 . . . 03
- 熊ファミ・親和の県内預貸金動向 . . . 04
- 資産運用商品販売額・残高 . . . 05
- 経費削減 . . . 06
- 不良債権処理・信用コスト . . . 07
- 親和銀行の不良債権処理の進捗 . . . 08
- 2007年度業績概要 . . . 09
- 2008年度業績予想（連結） . . . 10
- 2008年度業績予想（銀行単体） . . . 11
- 自己資本の状況 . . . 12
- 経営統合の進捗：全体像 . . . 13
- 経営統合の進捗：統合シナジー . . . 14
- 目指す将来像 . . . 16

本日のスピーカー 取締役会長兼社長 谷 正明

Part II 2007年度業績概要

- 2007年度業績概要 . . . 18
- トップラインの推移 . . . 19
- 貸出金 . . . 22
- 預金・NCD . . . 24
- 利回り . . . 25
- 資産運用商品 . . . 26
- 有価証券 . . . 27
- 開示不良債権 . . . 28
- 債務者区分遷移 . . . 29
- 引当・保全状況 . . . 32

Part III 2008年度計画概要

- 中期経営計画 . . . 36
- トップラインの推移 . . . 40
- 貸出金 . . . 43
- 預金・NCD . . . 44
- 非金利収益 . . . 45

Part IV マクロ経済指標

- 全国・九州のマクロ経済 . . . 47
- 九州圏内の県別シェア . . . 48
- DI . . . 49
- 貸出金・預金 . . . 50
- 地価動向 . . . 51
- 設備投資・住宅投資 . . . 52
- 生産・貿易 . . . 53
- 消費・公共工事 . . . 54
- 企業倒産・雇用 . . . 55

出席者

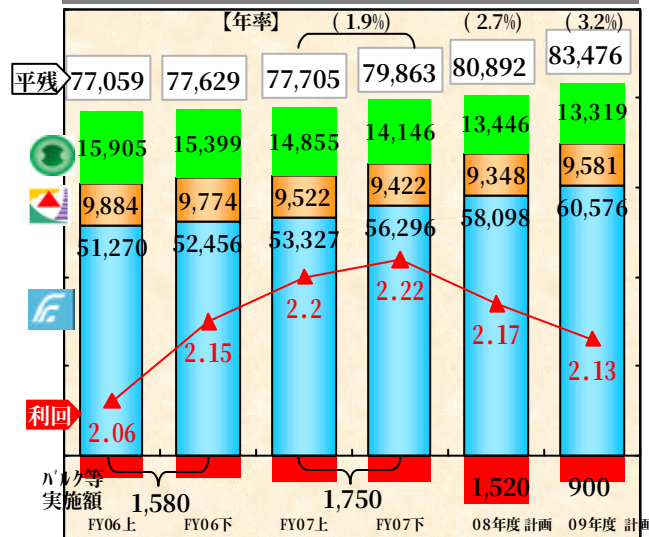
取締役	吉 戒 孝
執行役員経営企画部長	吉 田 泰彦
経営企画部副部長	横 田 浩二

Part I

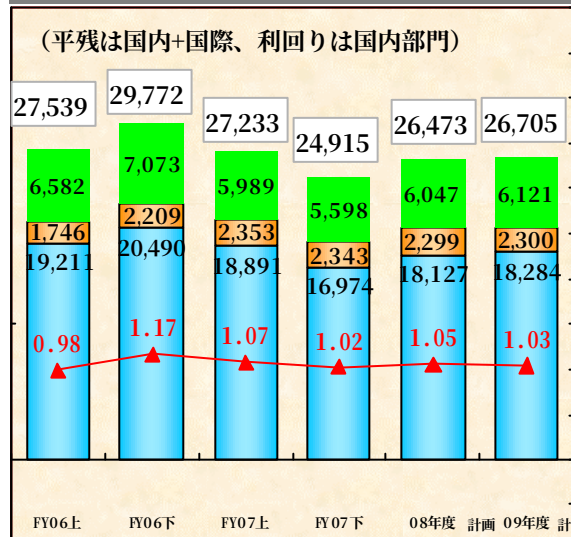
社長プレゼンテーション

資金運用・調達の実績と計画

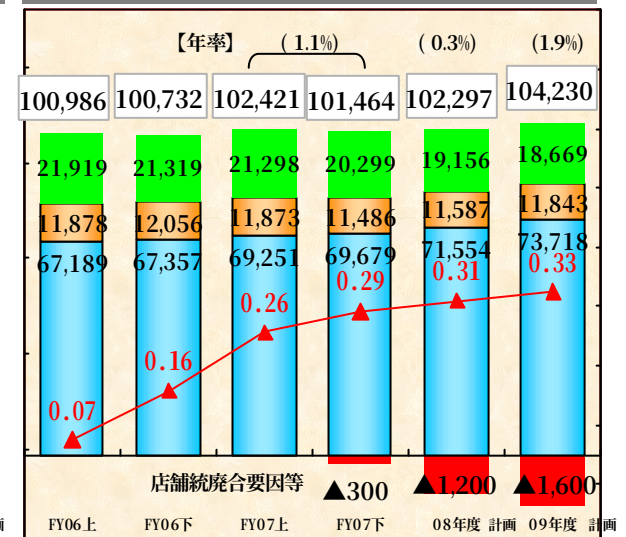
国内貸出金平残 (億円・%)



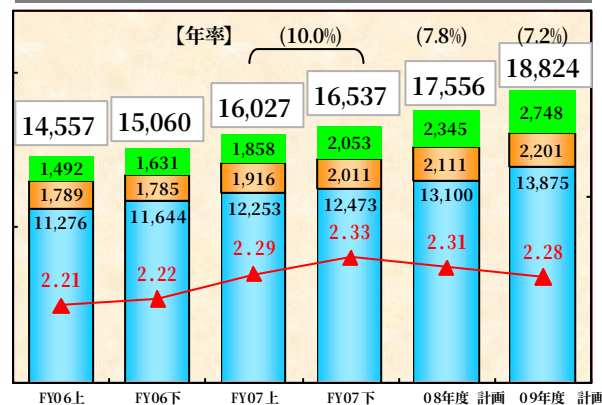
有価証券平残 (億円・%)



国内預金・NCD平残 (億円・%)



住宅ローン平残 (億円・%)



資金利益の増減要因 (億円)

3行合算	FY07				FY08				FY09			
	国内資金利益				国内資金利益				国内資金利益			
	1,634億円 (前年比▲70)				1,593億円 (前年比▲41)				1,588億円 (前年比▲5)			

	福岡銀行				熊本ファミリー銀行				親和銀行			
	FY07実績	FY08計画	FY09計画		FY07実績	FY08計画	FY09計画		FY07実績	FY08計画	FY09計画	
貸出金利	1,121	1,175	1,212	259	248	248	361	331	321	331	321	
有価証券利息	128	137	143	32	32	29	55	49	49	49	49	
預金利息	177	215	241	38	40	41	65	61	57	57	57	
国内資金利益	1,043	1,052	1,062	237	225	220	354	317	306	306	306	

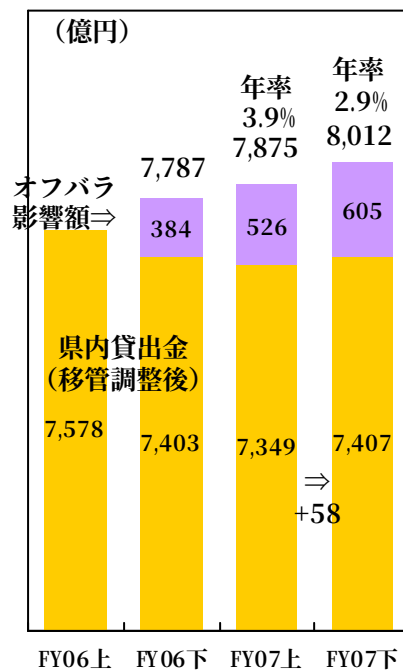
V～増減要因、R～減損要因、07年度の親和銀行計数は年額ベース

熊ファミ・親和の県内貸出金・預金動向

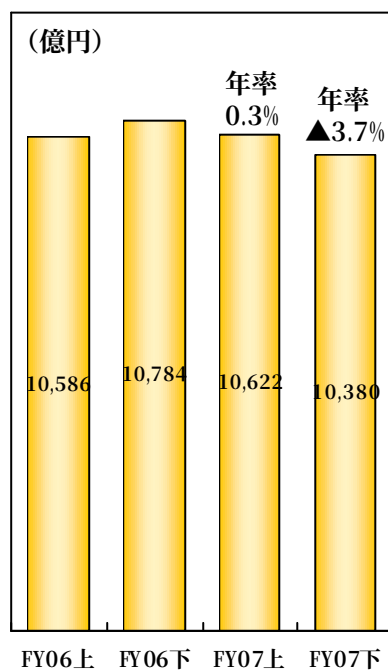
- 熊ファミ：県内貸出金は実質プラス年率、県内預金は高金利定期抑制により足下▲3.7%の年率
- 親 和：県内正常先貸出金は07下期にプラス年率に反転、県内預金は07/11月をボトムに年率マイナス幅は縮小

熊本ファミリー銀行

県内貸出金平残

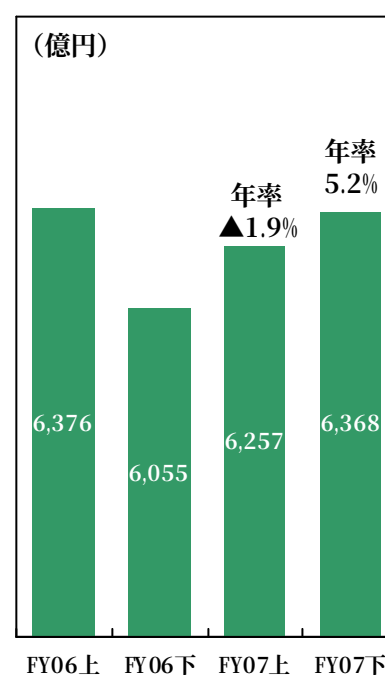


県内預金平残

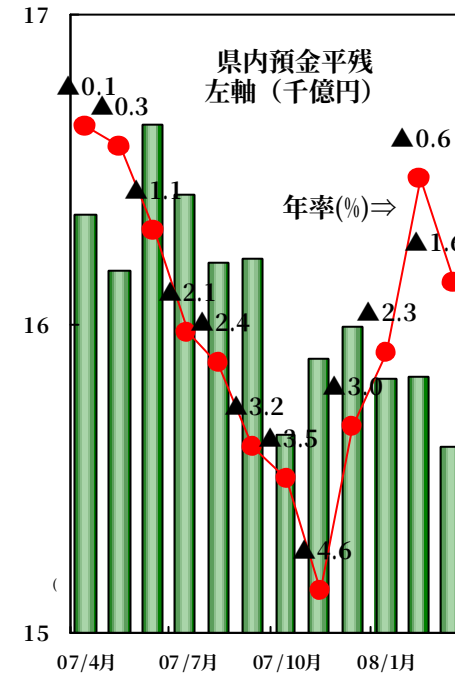


親和銀行

県内正常先貸出金平残



県内預金平残



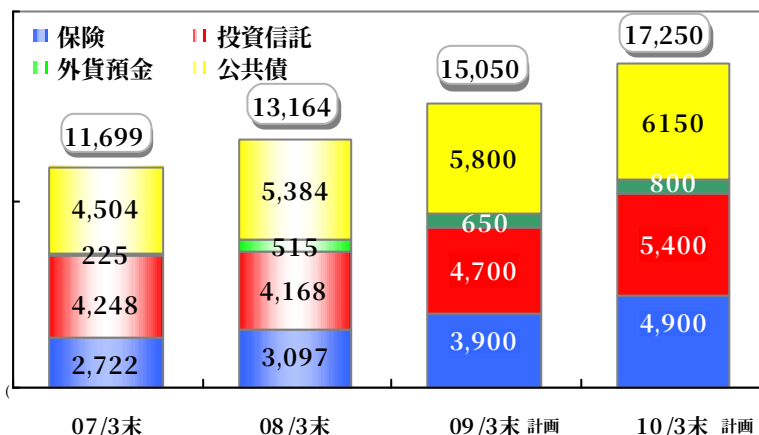


資産運用商品販売額・残高

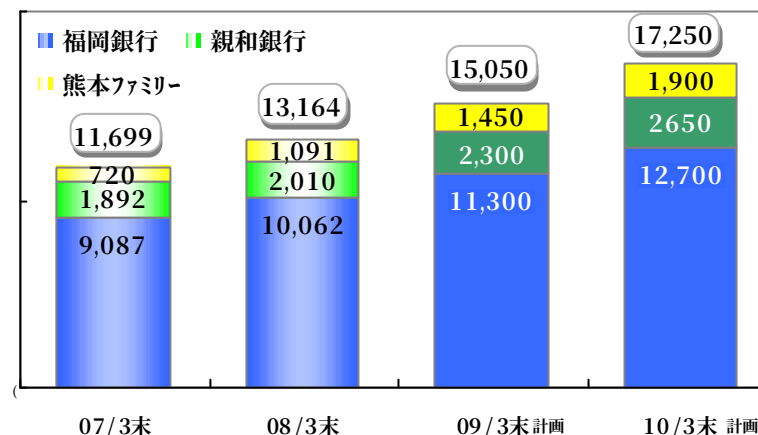
個人預かり資産残高

(億円)

商品別（3行合算ベース）



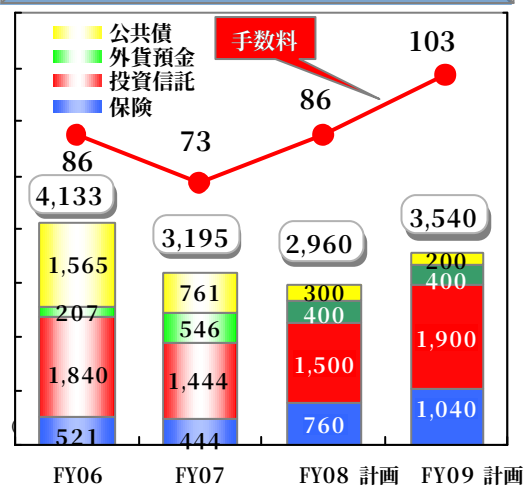
銀行別



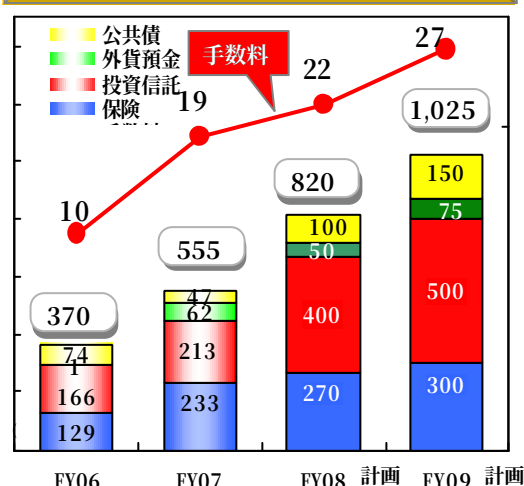
資産運用商品販売額・手数料

(億円)

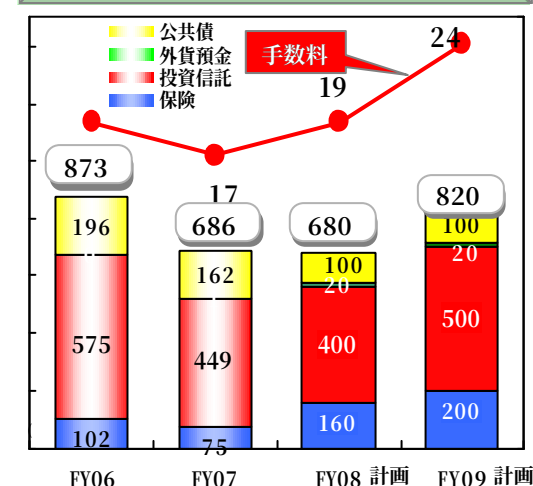
福岡銀行



熊本ファミリー銀行

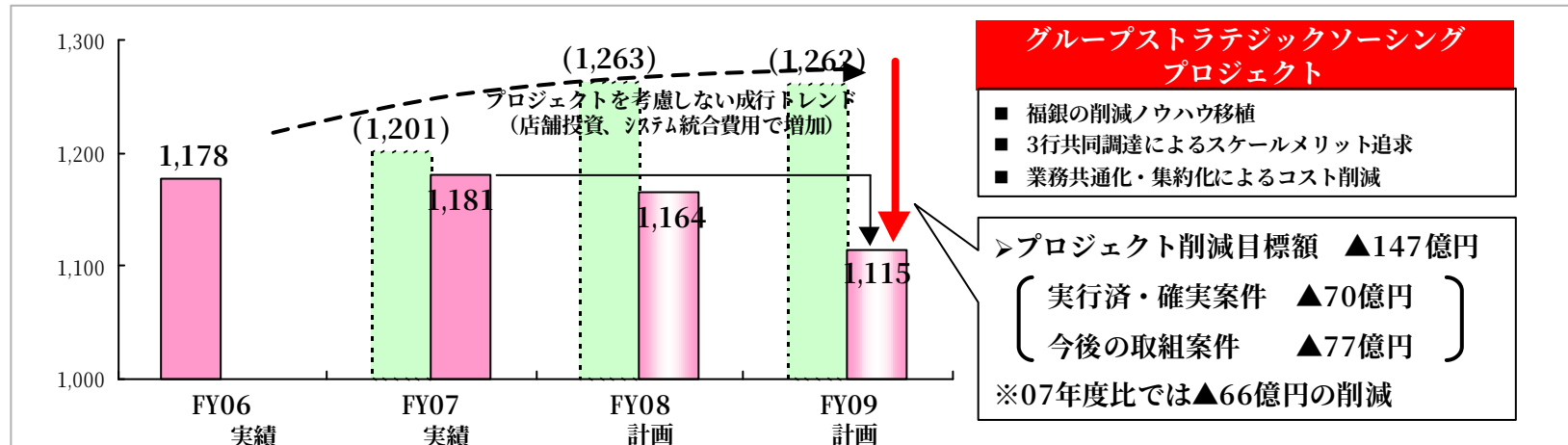


親和銀行

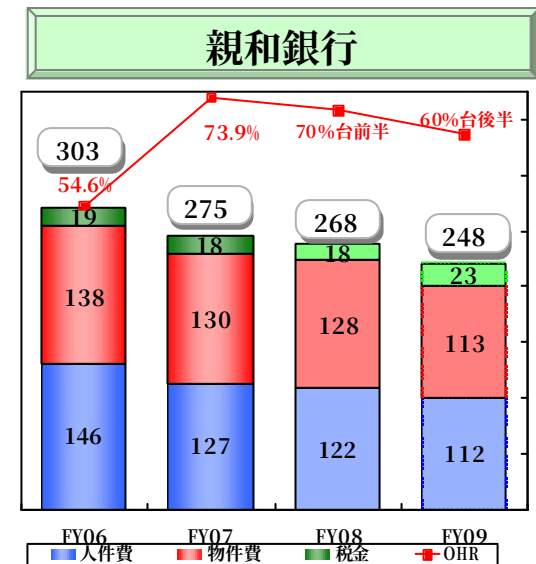
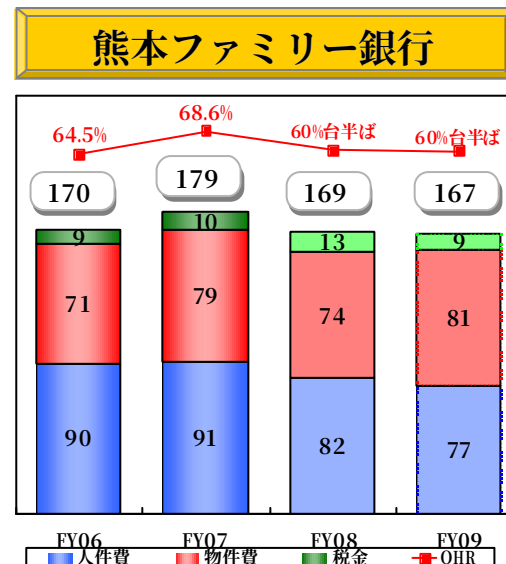
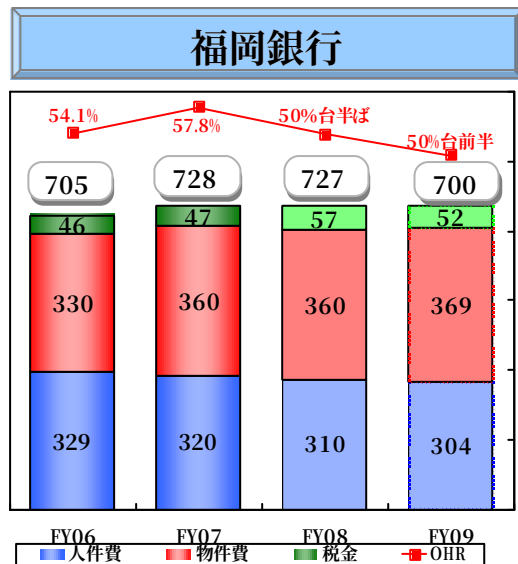


経費削減

経費（3行単体合算）
（億円）

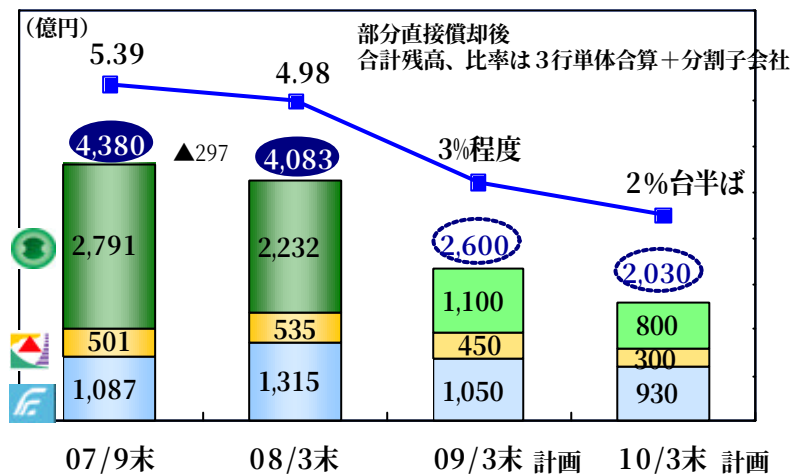


経費・OHR
（億円）

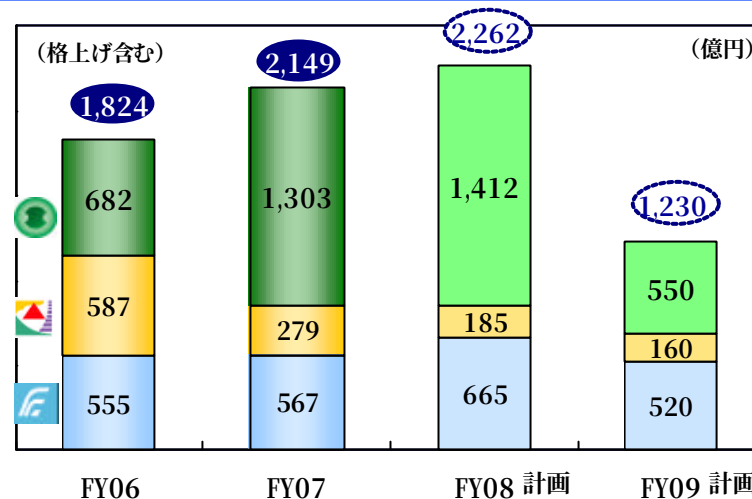


不良債権処理・信用コスト

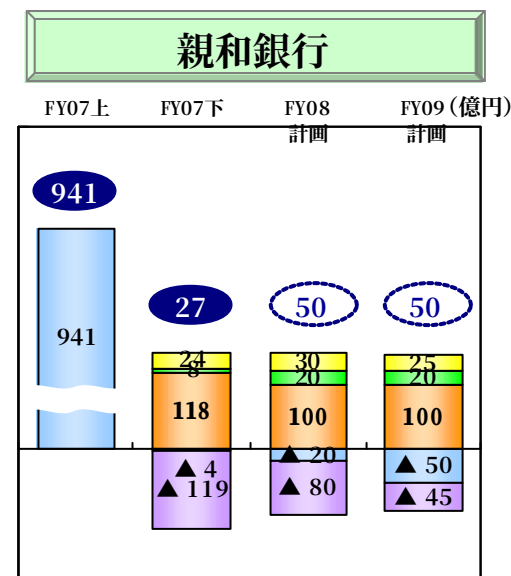
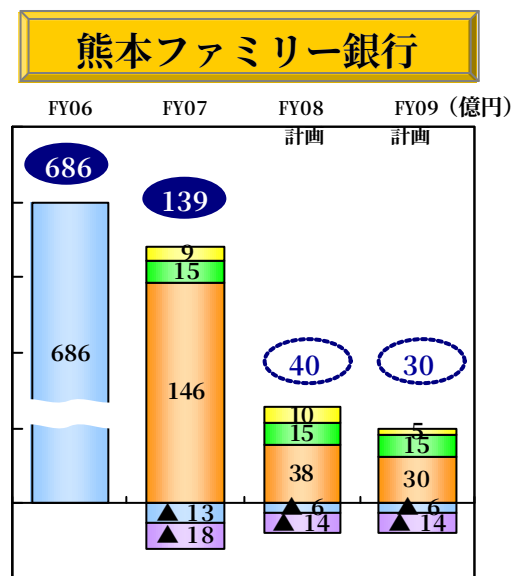
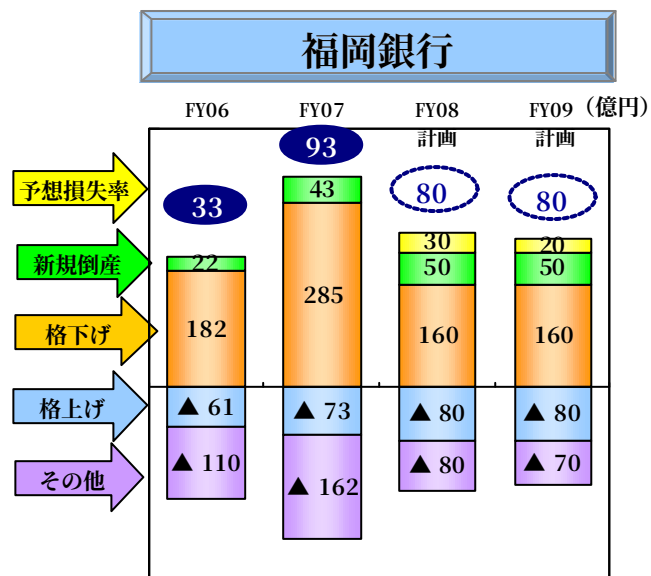
不良債権残高・比率



不良債権オフバランス化



信用コスト



親和銀行の不良債権処理の進捗

- 07下半期に559億円のオフバランスを実現（うち債権売却346億円）
- 08年度の不良債権処理は「事業再生」へ軸足を移行

親和銀行不良債権削減マスタープラン

【07/9月末の開示不良債権残高】

【07/9～08/3の実績】

【FY08の見通し】

大
再生可能性

カテゴリーⅠ

850億

- ・積極支援
- ・再生手法検討済or着手中

790億（▲60億円）

回収等 ▲60

カテゴリーⅡ

300億

- ・支援方針
- ・再生手法継続検討

220億（▲80億円）

回収等 ▲35 償却 ▲34
債権売却▲14 <再生F▲14>

カテゴリーⅢ

655億

- ・オフバランス方針

220億（▲435億円）

回収等 ▲84 償却 ▲35
債権売却▲316
<再生F▲62 外部F▲254>

カテゴリーⅣ

986億

- ・業況推移を注視（継続支援）

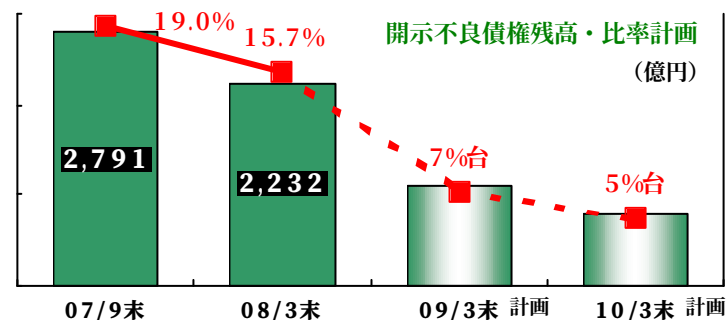
1,002億（+16億円）

ランクダウン+187 ランクアップ▲28
回収等 ▲95 償却 ▲32
債権売却▲16

小

不明

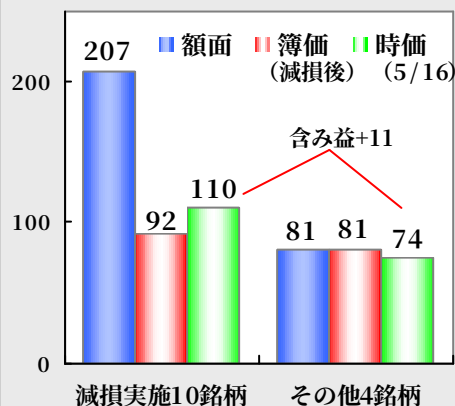
- 1 処理計画（内訳）→▲1,130億円の削減
 - ①支援実施予定先の残高 13G 650億円
▲500億円・・・DES、放棄、ランクアップ等
 - ②債権売却見込額
▲350億円・・・個別判定
 - ③償却見込額
▲100億円・・・20/3末時点のIV分類額から推計
 - ④回収見込額
▲450億円・・・19下実績から特殊要因除き推計
 - ⑤新規発生見込額
+ 280億円・・・19下実績から特殊要因除き推計



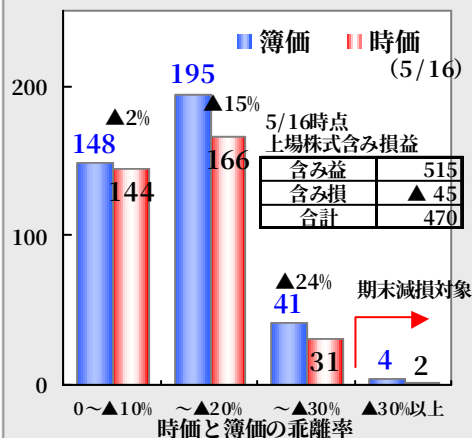
2007年度業績概要

有価証券の状況
F F G 連結ベース 【単位：億円】

CDO



含み損のある上場株式の分布



【単位：億円】	3行連結合算		福岡銀行		熊本ファミリー		親和銀行	
		前年比	単体	前年比	単体	前年比	単体 下半期	前年 同期比
業務粗利益	1,789	▲158	1,258	▲44	261	▲3	172	▲128
資金利益	1,508	▲33	1,083	31	237	▲18	170	▲51
役務取引等利益	272	▲11	193	▲22	24	5	24	▲6
特定・その他利益	10	▲113	▲17	▲53	▲0	10	▲22	▲71
うち債券5勘定	▲83	▲116	▲55	▲52	▲0	13	▲29	▲77
経費	1,074	27	728	23	179	9	134	▲14
業務純益	839	0	603	▲18	87	61	94	▲34
コア業務純益	799	▲69	585	▲15	82	▲24	67	▲36
臨時損益	▲647	460	▲306	▲248	▲185	459	▲137	234
うち株式関係損益	▲203	▲229	▲150	▲161	▲22	▲7	▲35	▲50
(FFG株売却損)	(▲181)	-	(▲180)	-	(▲0)	-	-	-
経常利益	192	460	297	▲266	▲99	519	▲43	201
特別損益	▲15	▲4	▲25	▲10	▲5	▲3	18	13
当期純利益	7	483	174	▲156	※ ▲156	414	▲19	243
信用コスト	292	▲859	93	61	139	▲547	27	▲386
有価証券減損 (連結)	302		148		26		92	
うちCDO	115		75		0		47	
うち上場株式	187		73		26		35	

※繰延税金資産の一部取崩し▲53億円



2008年度 業績予想（連結）

- F F G連結経常利益 : 530億円（前年比+271億円）
- F F G連結当期純利益 : 250億円（前年比+237億円）

F F G連結

	FY07 実績	FY08 計画	前年比
経常収益	2,778	2,760	▲ 18
経常費用	2,519	2,230	▲ 289
うちのれん代償却	90	90	0
経常利益	259	530	271
当期純利益	13	250	237

1株当り配当金	7円	8円
配当性向	574%程度	28%程度

銀行連結ベース

（単位：億円）

	FY07実績				FY08計画			
	3行連結合算				3行連結合算			
		福岡	熊本 F	親和		福岡	熊本 F	親和
業務粗利益	1,789	1,352	257	180	2,089	1,445	259	385
資金利益	1,508	1,098	238	171	1,675	1,130	225	320
役務取引等利益	272	215	26	30	319	230	29	60
特定取引・その他	10	39	▲ 7	▲ 21	95	85	5	5
経費	1,074	760	176	137	1,204	765	169	270
コア業務純益	799	646	81	71	885	680	90	115
臨時損益	▲ 647	▲ 323	▲ 188	▲ 136	▲ 231	▲ 120	▲ 41	▲ 70
うち不良債権処理額	433	189	146	98	206	110	32	64
経常利益	192	329	▲ 102	▲ 35	643	560	38	45
当期純利益	7	179	▲ 158	▲ 14	355	315	5	35
信用コスト	▲ 292	▲ 129	▲ 141	▲ 22	▲ 210	▲ 110	▲ 42	▲ 58



2008年度 業績予想（銀行単体）

- 3行合算コア業務純益 : 815億円（前年比+81億円）
- 3行合算信用コスト : 170億円（前年比+89億円）
- 3行合算当期純利益 : 335億円（前年比+266億円）

（単位：億円）

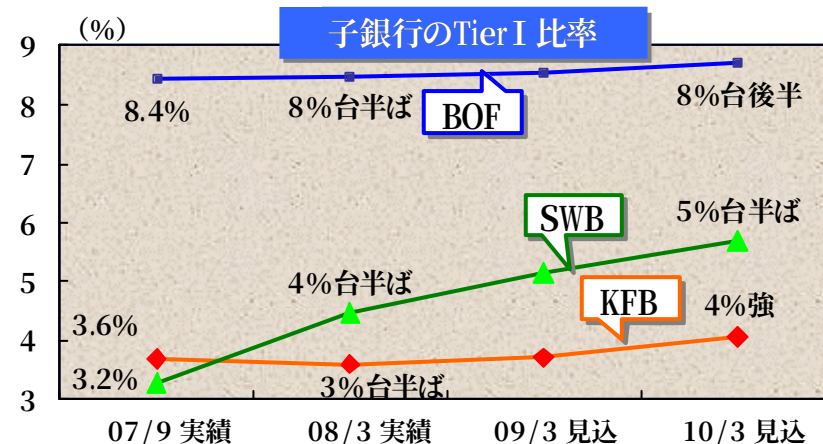
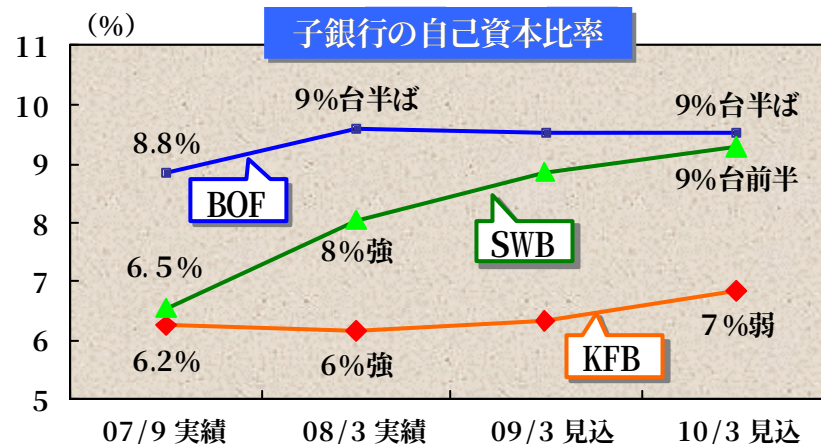
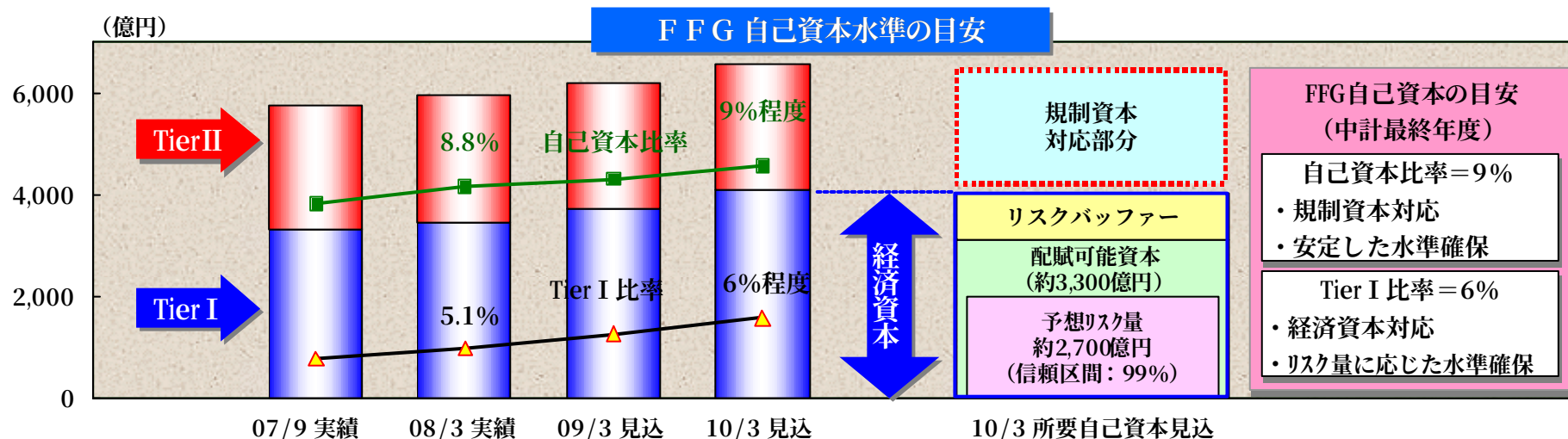
【 単 体 】	3行単体合算									
	FY08 計画	前年比 *1	前年比 *2	福岡銀行		熊本ファミリー銀行		親和銀行		
				FY08 単体	前年比	FY08 単体	前年比	FY08 単体	前年比 *1	前年比 *2
業務粗利益	1,979	288	88	1,346	88	259	▲ 2	374	202	2
資金利益	1,652	162	▲ 23	1,110	27	225	▲ 12	317	147	▲ 38
国内部門	1,594	146	▲ 39	1,052	9	225	▲ 12	317	149	▲ 36
国際部門	60	18	18	58	18	1	1	1	▲ 1	▲ 1
役務取引等利益	284	43	12	202	9	29	5	53	29	▲ 2
特定取引・その他	42	81	97	35	52	4	4	3	25	41
経費	1,164	123	▲ 18	727	▲ 1	169	▲ 10	268	134	▲ 7
コア業務純益	815	81	20	620	35	90	8	105	38	▲ 23
臨時損益	▲ 196	431	1,070	▲ 90	216	▲ 41	144	▲ 65	71	710
うち不良債権処理額	▲ 166	242	849	▲ 80	86	▲ 30	114	▲ 56	42	649
経常利益	608	453	1,375	530	233	38	137	40	83	1,005
当期純利益	335	336	1,341	300	126	5	161	30	49	1,054
信用コスト	▲ 170	89	1,030	▲ 80	13	▲ 40	99	▲ 50	▲ 23	918

* 1：親和銀行07年度計数に関し、下期計数のみ考慮した場合の前年比

* 2：親和銀行07年度計数に関し、年度計数での前年比

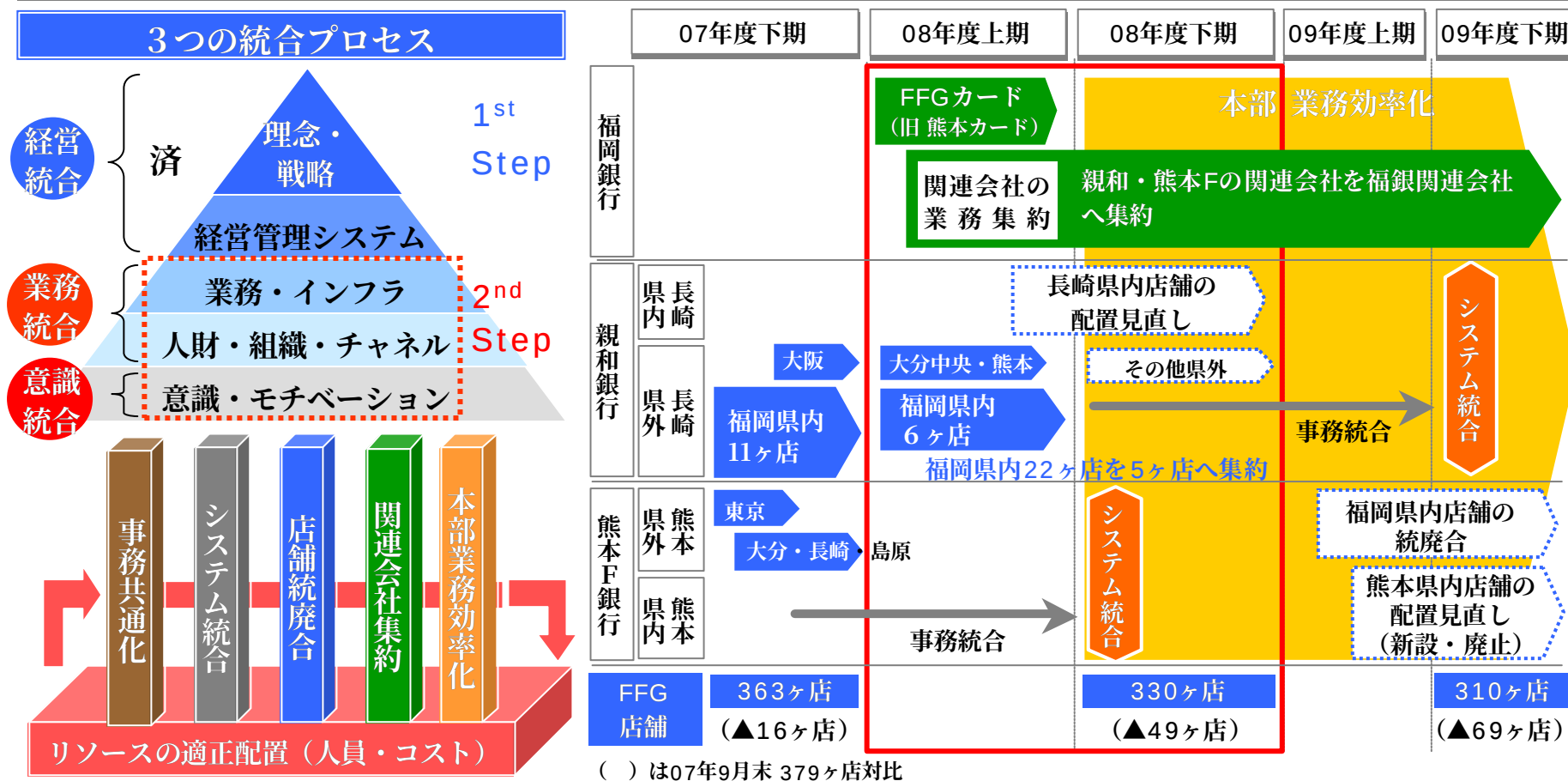
自己資本の状況

- FFGが傘下銀行を含めたグループ全体の資本政策をグリップ
- 今後は、利益の積上げで「自己資本比率9%、Tier I 比率6%水準」を確保



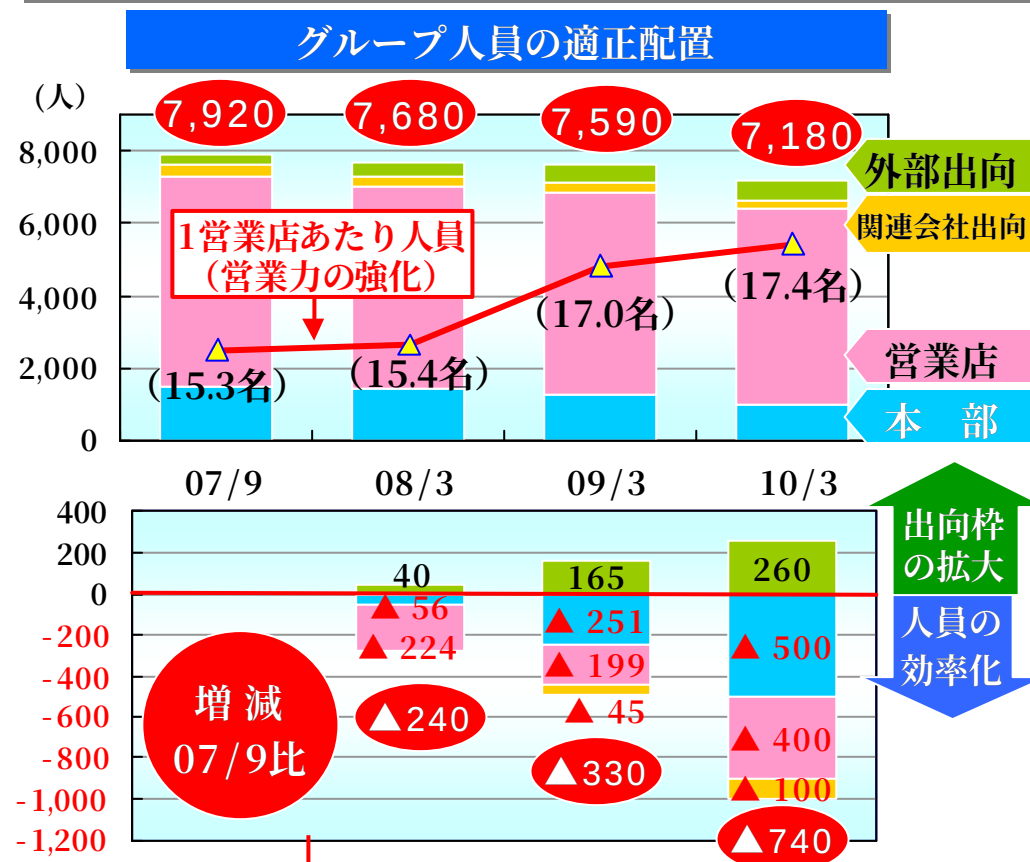
経営統合の進捗：全体像

- 統合の工程は、『経営統合』の領域から『業務・意識統合』の領域へ
- 業務統合は、事務共通化、システム統合、店舗統廃合、関連会社集約、本部業務の効率化の5本柱
- リソースの適正配置に伴うシナジー効果を早期に発現させることに傾注



経営統合の進捗：統合シナジー①

- グループ人員の適正配置により、約1,000名の削減効果と営業力強化を同時実現
- 人員適正配置と福銀ノウハウの移植により、シナジー効果を最大化



収益貢献シナジー・コスト削減シナジーの最大化

経営統合の進捗：統合シナジー②

- コスト削減項目及び非金利営業項目が順調に推移し、07年度は約28億円のシナジー効果が実現
- 中計最終年度には、07年度対比倍増の138億円のシナジーを見込む

		07年度				中計最終年度
		FFG合計	親和銀行	熊本ファミリー	福岡銀行	FFG合計
シナジー合計		28億円	30億円	16億円	▲19億円	138億円
■中小企業向商品 (スコアリング商品等)	・新商品収益額 (実行額)	1億円	0億円 (24億円)	1億円 (59億円)	— —	9億円
■ソリューション	・協業営業収益額 (実行額)	6億円	0億円 (58億円)	1億円 (83億円)	4億円 (129億円)	15億円
	・収益物件収益増加額 (実行額)	1億円	1億円 (68億円)	1億円 (156億円)	— —	10億円
■住宅ローン	・収益増加額 (実行額)	0億円	0億円 (466億円)	0億円 (385億円)	— —	6億円
■資産運用商品	・収益増加額 (販売額)	13億円	0億円 (697億円)	13億円 (591億円)	— —	16億円
■デリバティブ関連	・新商品収益額	4億円	1億円	3億円	—	4億円
■調達コスト	・高金利預金圧縮	6億円	0億円	6億円	—	22億円
■経費	・財務上の経費 (ストラテジックソーシング効果)	▲3億円 (25億円)	28億円 (12億円)	▲9億円 (6億円)	▲23億円 (7億円)	56億円 (130億円)

- 目指すグループ像：規模に見合う内容を備えた国内トップクラスの地域金融グループ
- 統合の経験を活かしたオープン型の地域金融グループ

飛躍への助走ステージ

第二次中計最終年度（FY09）

コア業務純益	885億円
連結当期純利益	335億円
連結ROE	6%程度
OHR	50%台半ば
総資産	12兆円
総貸出金	8.4兆円
総資金	10.5兆円
不良債権比率	2%台
自己資本比率	9%程度

- FFGカルチャーの創造
- 統合シナジー効果の早期実現と最大化
- グループ一体経営体制の確立

グループ運営の高度化

- システム統合（経営管理インフラ統一）

B/ Sの改善

- 熊ファミ・親和の不良債権処理終焉
- 貸出ポートフォリオの再構築
- 預金等調達構造の再構築
- システム統合（商品・サービスインフラの統一）

P/ Lの改善

- 営業ノウハウの移転
- システム統合（商品・サービス開発・販売インフラ統一）
- 店舗・チャネルの統合
- グループ人員の効率的配置
- 関連会社の統合

飛躍的成長ステージ

FFG 5年後の姿（FY11）

コア業務純益	1,200億円以上
連結当期純利益	650億円以上
連結ROE	8%台半ば
OHR	40%台
総資産	13兆円
総貸出金	9兆円台半ば
総資金	11兆円台半ば
不良債権比率	1%台
自己資本比率	10%台

- 規模に見合う内容を備えた国内トップクラスの地域金融グループ
- オープン型の地域金融グループ体制

Part II

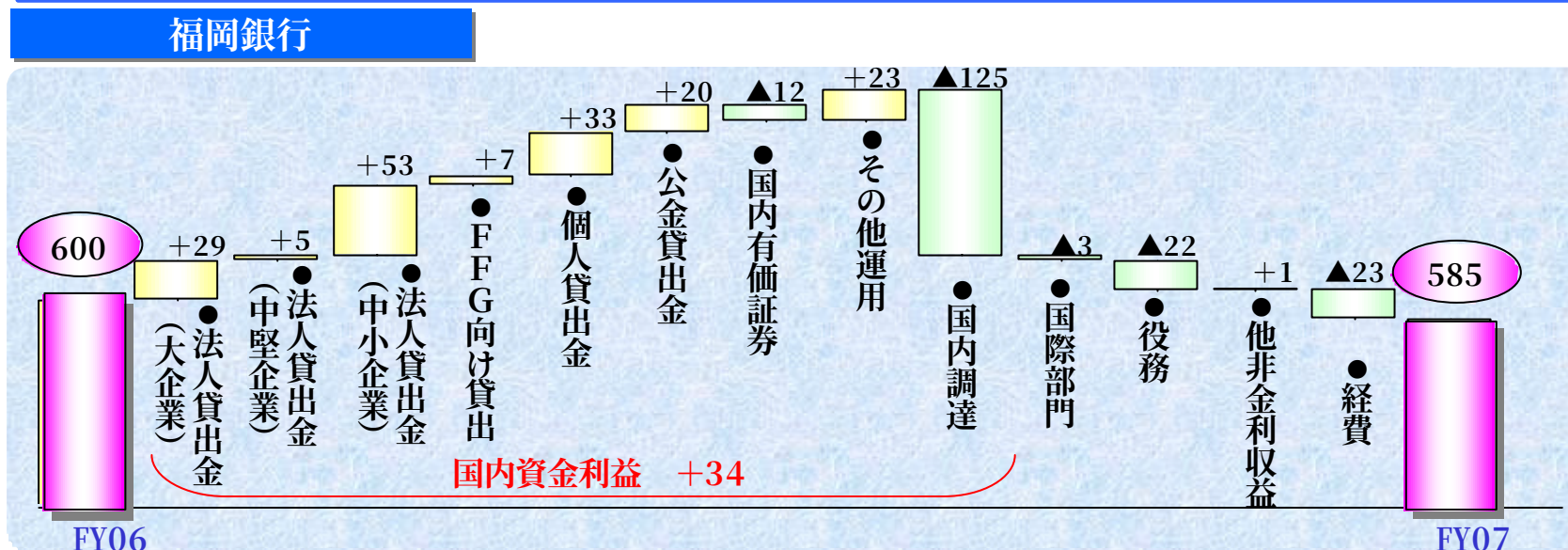
2007年度の業績概要

2007年度業績概要

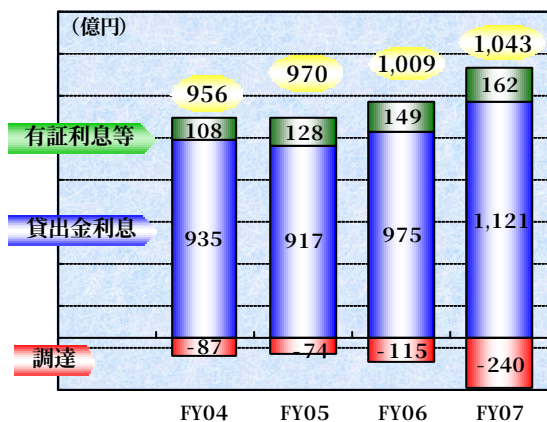
- 福岡銀行 : コア業務純益585億円（前年比▲15億円）、当期純利益174億円
- 熊本ファミリー銀行 : コア業務純益82億円（前年比▲24億円）、当期純利益▲156億円
- 親和銀行（下期） : コア業務純益67億円（前年同期比▲36億円）、当期純利益▲19億円

【単位：億円】	福岡銀行			熊本ファミリー銀行			親和銀行		
		前年比	計画比		前年比	計画比	（下期）	前年同期比	計画比
業務粗利益	1,258	▲44	▲75	261	▲3	▲3	172	▲128	▲38
資金利益	1,083	31	▲12	237	▲18	▲5	170	▲51	▲11
役務取引利益	193	▲22	▲21	24	5	▲2	24	▲6	▲4
特定/その他	▲17	▲53	▲42	▲0	10	4	▲22	▲71	▲22
債券5勘定 (CDO減損)	▲55 (▲75)	▲52	▲41	▲0 (0)	13	▲0	▲29 (▲47)	▲77	▲29
経費	728	23	6	179	9	▲2	134	▲14	▲9
業務純益	603	▲18	▲25	87	61	2	94	▲34	26
コア業務純益	585	▲15	▲39	82	▲24	▲1	67	▲36	▲0
臨時損益	▲306	▲248	▲71	▲185	459	▲112	▲137	234	▲103
うち株式関係損益 (株式減損額)	▲150 (▲77)	▲161	30	▲22 (▲26)	▲7	▲12	▲35 (▲35)	▲50	▲35
経常利益	297	▲266	▲95	▲99	519	▲111	▲43	201	▲77
特別損益	▲25	▲10	▲7	▲5	▲3	▲4	18	13	16
当期純利益	174	▲156	▲53	▲156	414	▲158	▲19	243	▲54
信用コスト	93	61	62	139	▲547	89	27	▲386	▲3

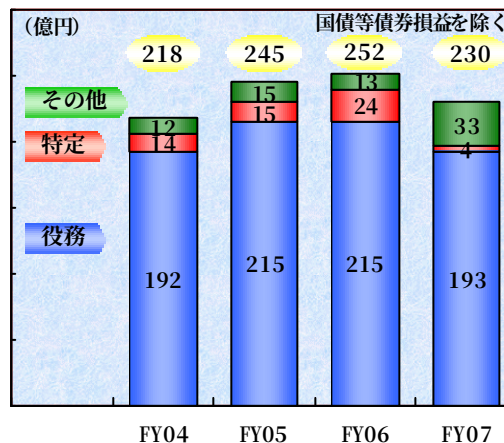
トプラインの推移：福岡銀行



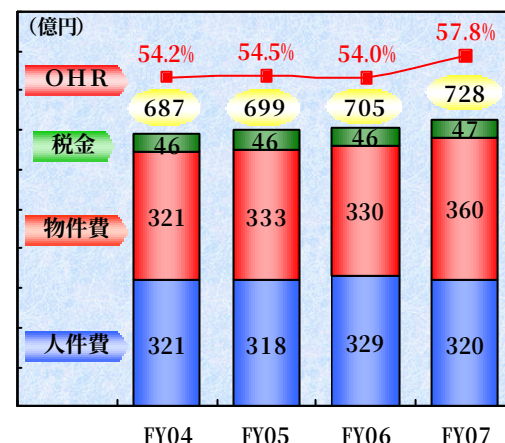
国内資金利益の推移



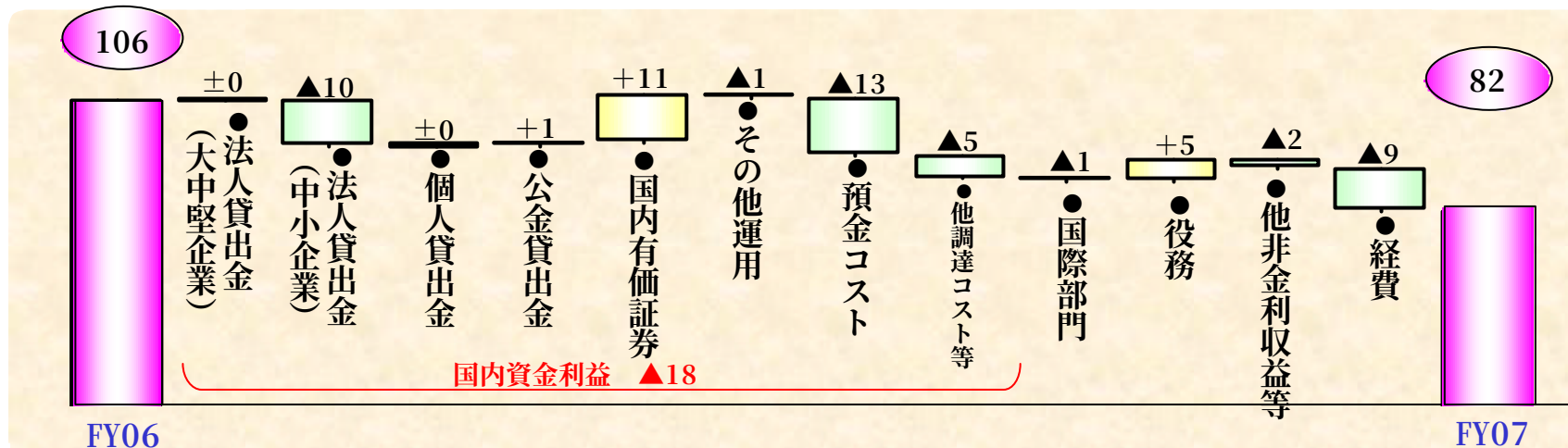
非金利収益



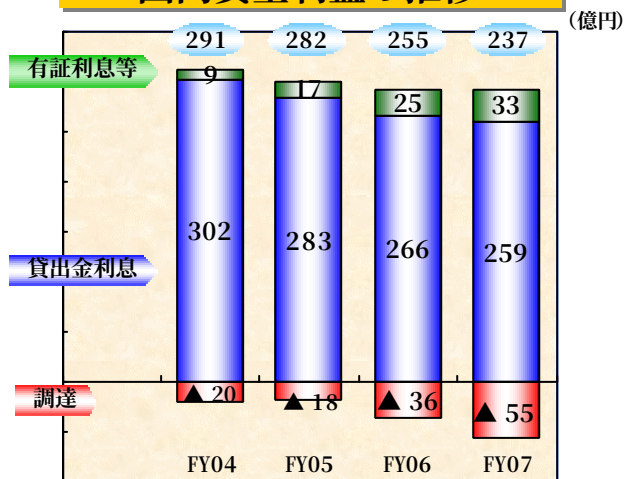
経費



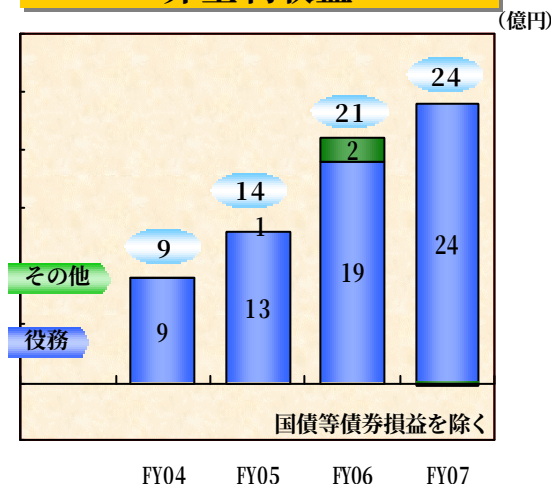
熊本ファミリー銀行



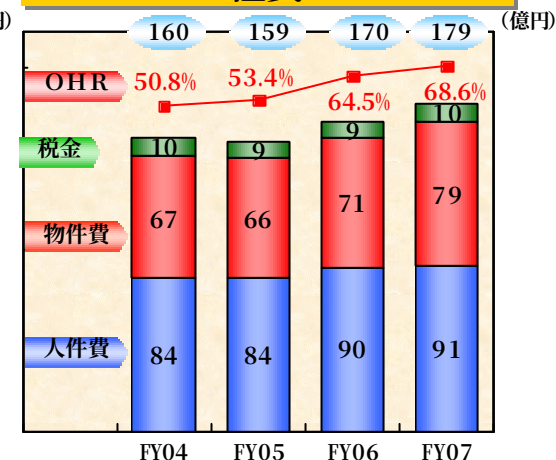
国内資金利益の推移



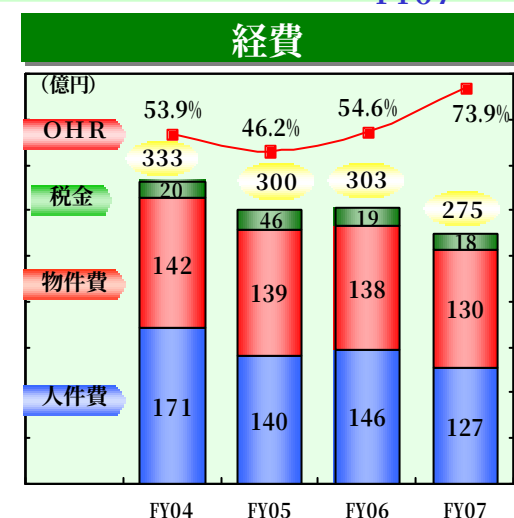
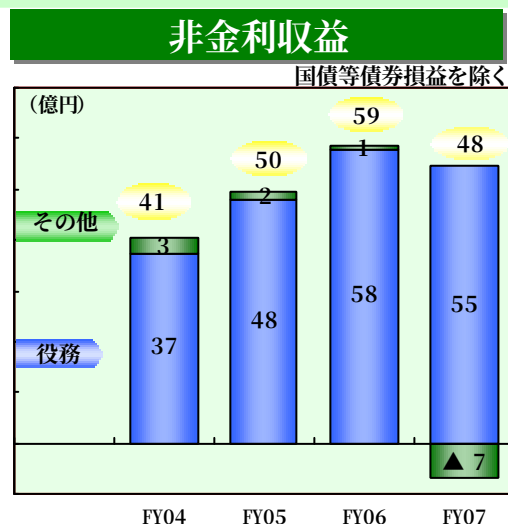
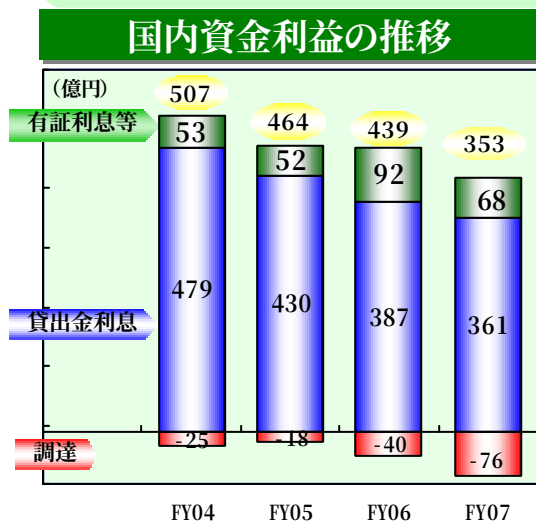
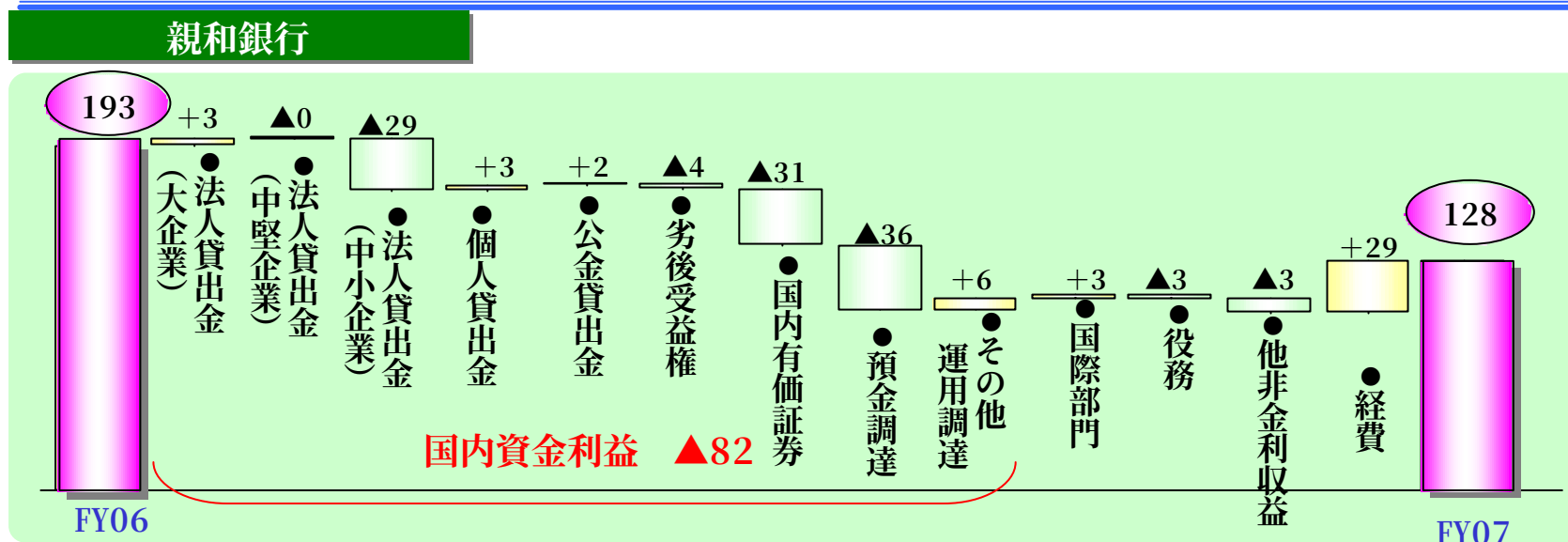
非金利収益



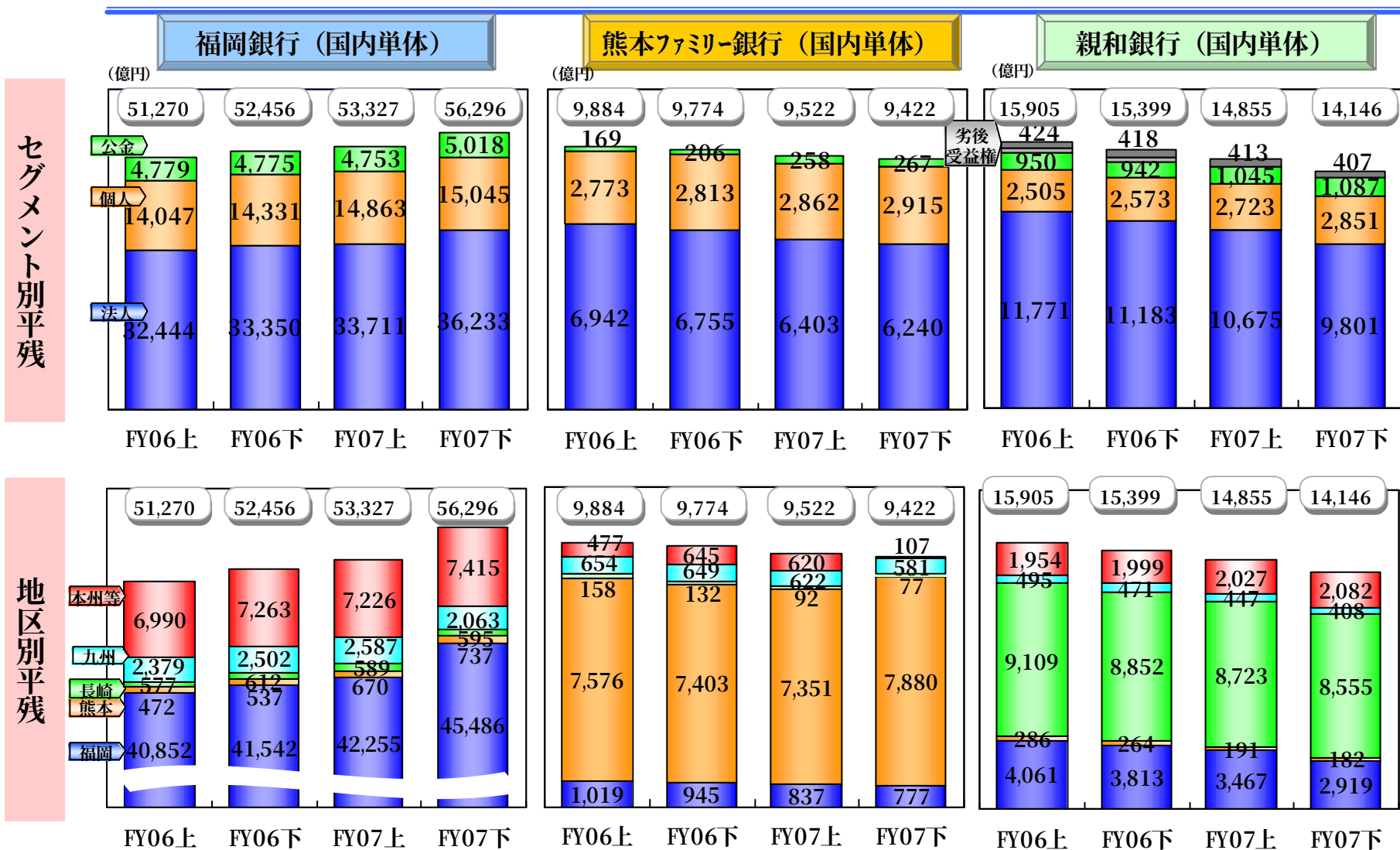
経費



トップラインの推移：親和銀行



貸出金：セグメント・地区別





貸出金：業種別

◆業種別貸出金 ※福岡・熊本ファミ：単体、親和：単体+分割子会社

(億円)

	2008年3月末							
	3行合算		福岡銀行		熊本ファミー銀行		親和銀行	
	80,674	100.0%	57,429	100.0%	9,262	100.0%	13,982	100.0%
製造業	6,890	8.5%	5,069	8.8%	574	6.2%	1,248	8.9%
農林漁業	337	0.4%	93	0.2%	95	1.0%	149	1.1%
鉱業	112	0.1%	44	0.1%	26	0.3%	42	0.3%
建設業	3,157	3.9%	1,846	3.2%	571	6.2%	740	5.3%
電気・ガス等	720	0.9%	549	1.0%	36	0.4%	135	1.0%
情報通信業	577	0.7%	444	0.8%	17	0.2%	116	0.8%
運輸業	2,889	3.6%	2,249	3.9%	148	1.6%	492	3.5%
卸売・小売業	10,582	13.1%	8,065	14.0%	925	10.0%	1,592	11.4%
金融・保険業	4,932	6.1%	3,614	6.3%	413	4.5%	904	6.5%
不動産業	10,748	13.3%	8,488	14.8%	1,324	14.3%	936	6.7%
各種サービス業	11,202	13.9%	6,625	11.5%	1,956	21.1%	2,621	18.7%
地公体	6,653	8.2%	5,024	8.7%	228	2.5%	1,401	10.0%
その他	21,876	27.1%	15,321	26.7%	2,951	31.9%	3,604	25.8%

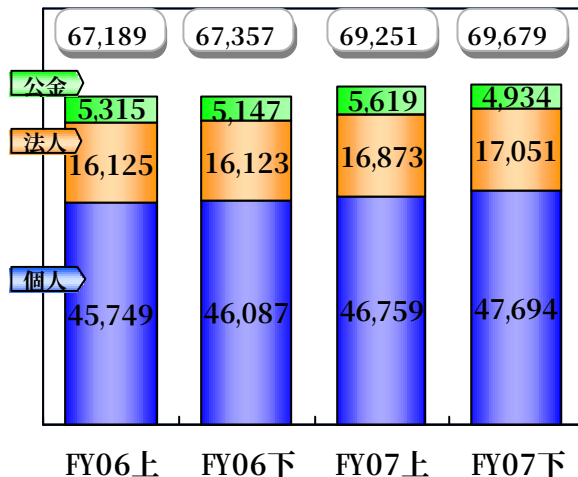
前年同期比			
3行合算	福岡銀行	熊本ファミー銀行	親和銀行
1,417	3,624	▲ 543	▲ 1,664
227	450	▲ 35	▲ 188
▲ 18	10	▲ 18	▲ 11
▲ 22	1	▲ 4	▲ 20
▲ 667	▲ 85	▲ 165	▲ 417
103	53	▲ 3	53
91	126	▲ 7	▲ 28
236	291	▲ 22	▲ 32
▲ 95	250	▲ 60	▲ 285
343	598	▲ 159	▲ 95
218	571	▲ 23	▲ 330
▲ 1,150	▲ 134	▲ 158	▲ 858
1,305	962	38	305
845	532	73	241

◆業種別リスク管理債権

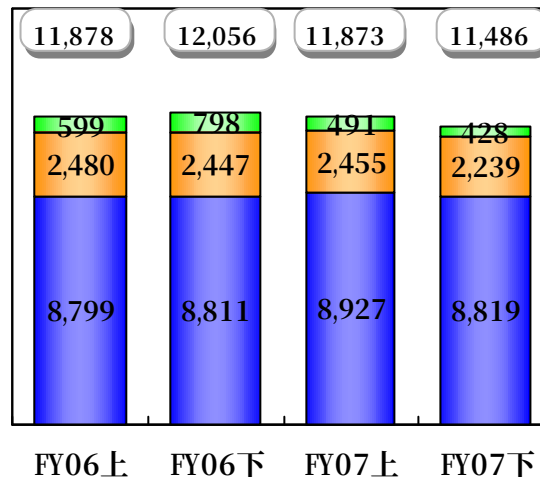
	2008年3月末							
	3行合算		福岡銀行		熊本ファミー銀行		親和銀行	
	4,198	100.0%	1,444	100.0%	529	100.0%	2,225	100.0%
製造業	563	13.4%	144	9.9%	50	9.5%	369	16.6%
農林漁業	112	2.7%	1	0.0%	11	2.1%	100	4.5%
鉱業	7	0.2%	2	0.1%	2	0.4%	3	0.1%
建設業	302	7.2%	80	5.5%	71	13.4%	152	6.8%
電気・ガス等	1	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
情報通信業	24	0.6%	15	1.1%	0	0.0%	8	0.4%
運輸業	206	4.9%	23	1.6%	21	4.0%	162	7.3%
卸売・小売業	771	18.4%	338	23.4%	61	11.5%	373	16.8%
金融・保険業	402	9.6%	252	17.4%	35	6.7%	114	5.1%
不動産業	456	10.9%	194	13.4%	74	14.1%	187	8.4%
各種サービス業	1,115	26.6%	293	20.3%	164	31.1%	658	29.6%
地公体	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	239	5.7%	104	7.2%	37	7.1%	98	4.4%

前年同期比			
3行合算	福岡銀行	熊本ファミー銀行	親和銀行
185	134	▲ 30	81
31	▲ 8	▲ 7	47
90	0	▲ 4	93
0	0	▲ 1	0
▲ 114	14	▲ 28	▲ 99
▲ 1	0	0	▲ 1
▲ 4	8	▲ 1	▲ 11
72	▲ 9	▲ 2	84
104	▲ 20	▲ 5	129
312	182	25	105
▲ 95	▲ 24	▲ 6	▲ 65
▲ 231	▲ 30	11	▲ 213
0	0	0	0
21	21	▲ 12	11

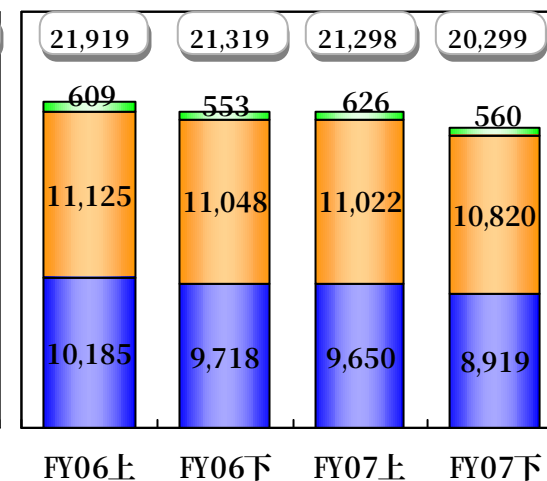
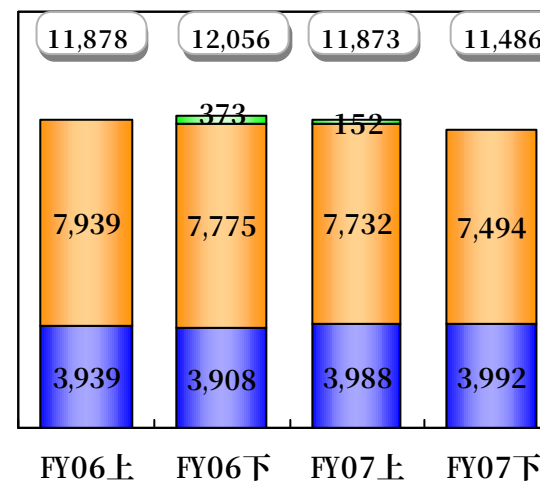
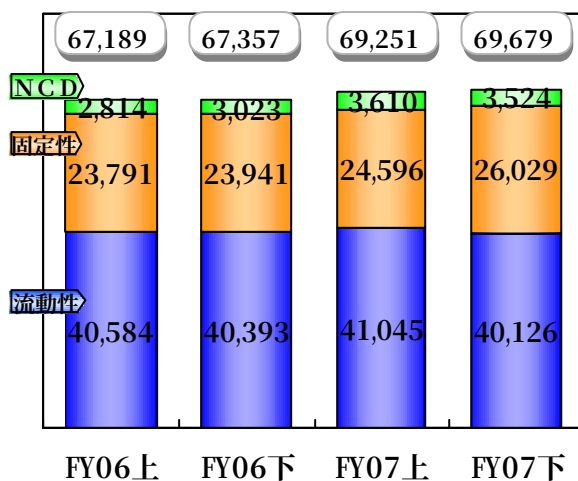
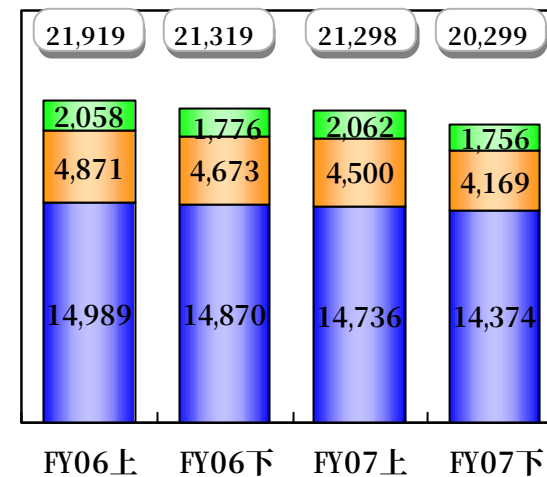
福岡銀行（国内単体）
(億円)



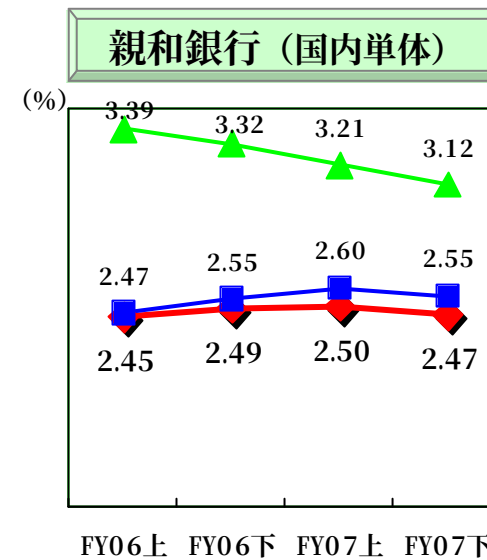
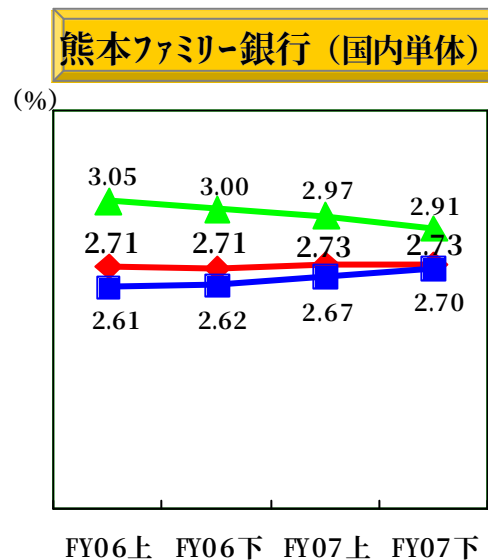
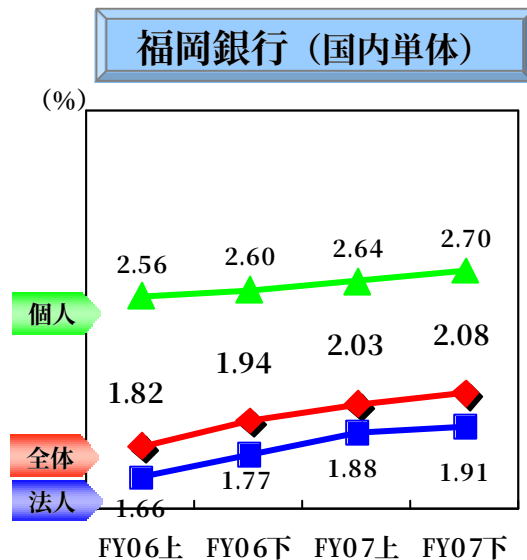
熊本ファミリー銀行（国内単体）
(億円)



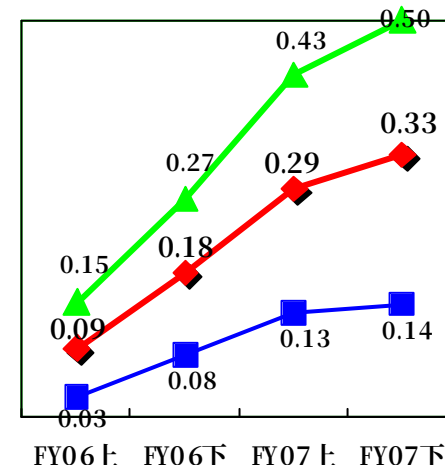
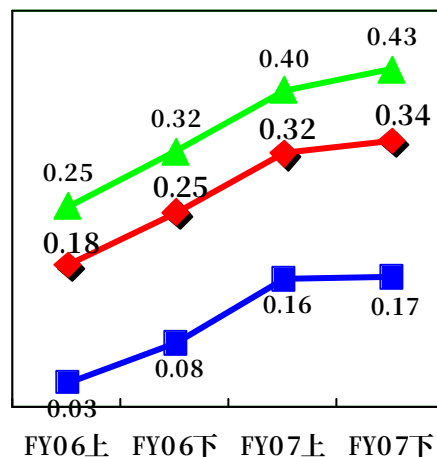
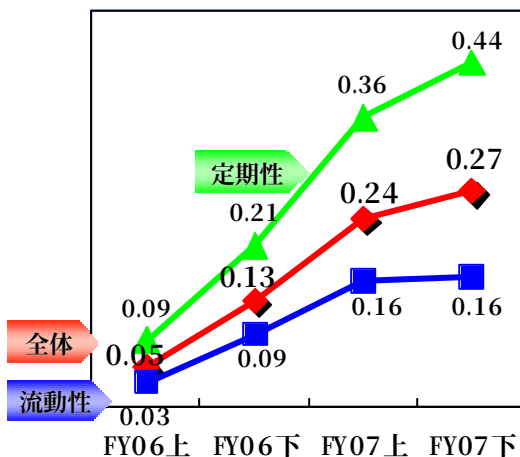
親和銀行（国内単体）
(億円)



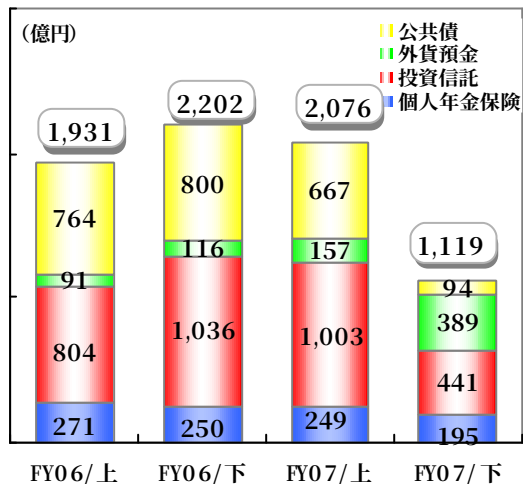
貸出金利回り



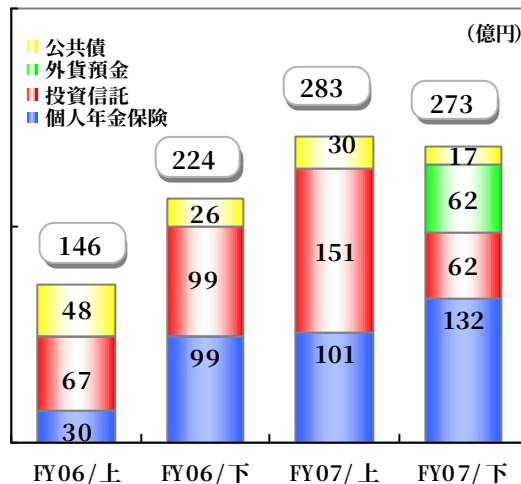
預金利回り



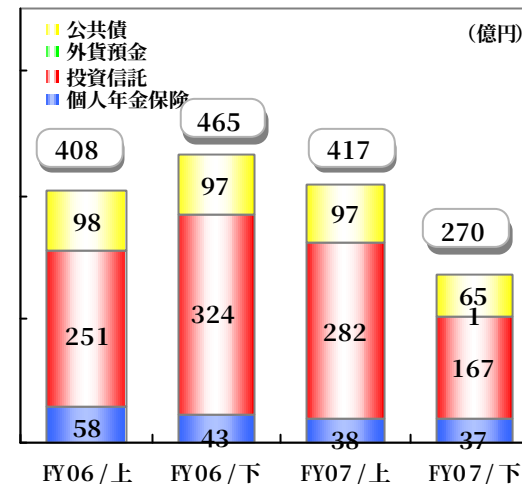
福岡銀行



熊本ファミリー銀行

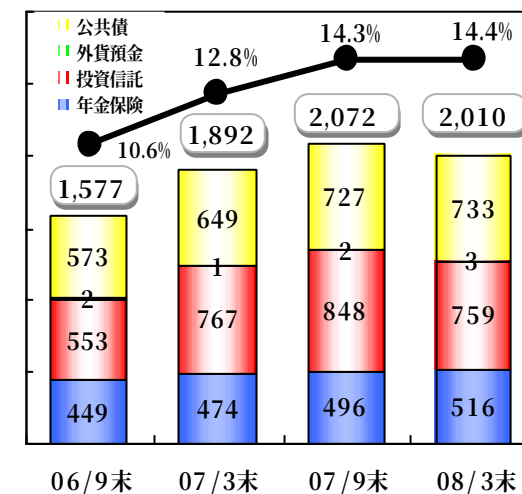
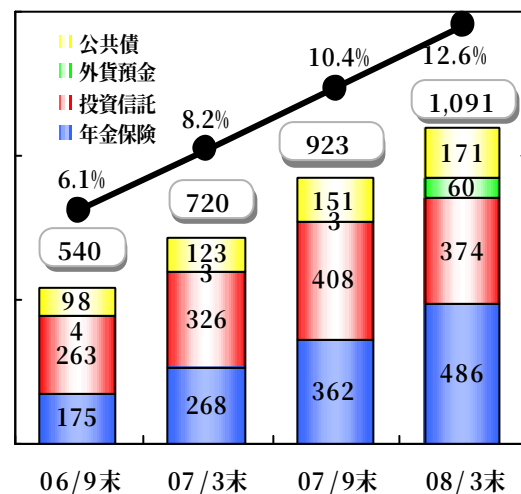
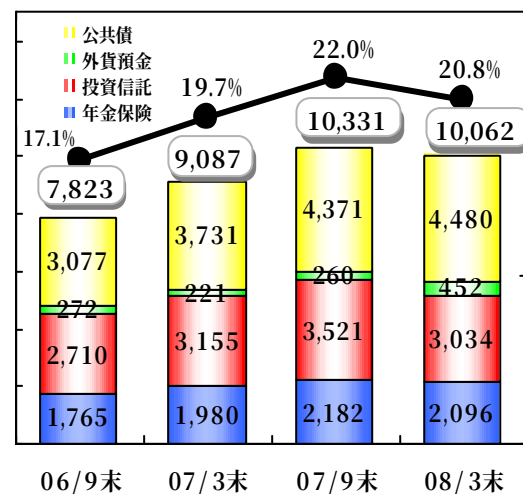


親和銀行



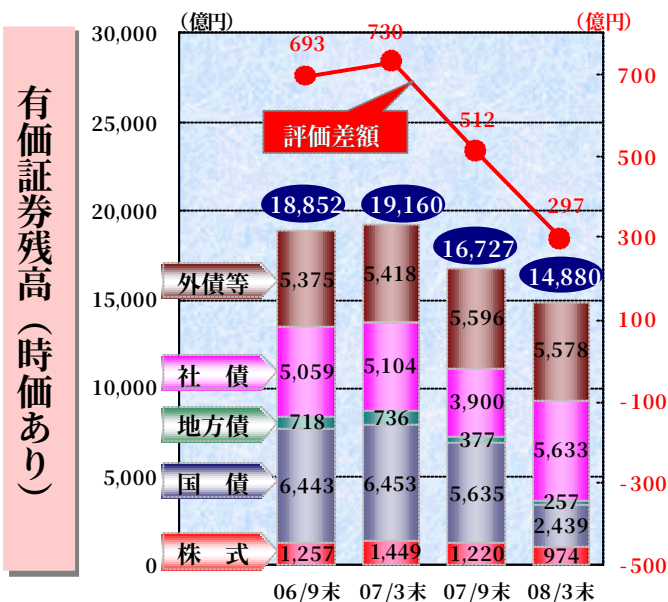
販売額

残高

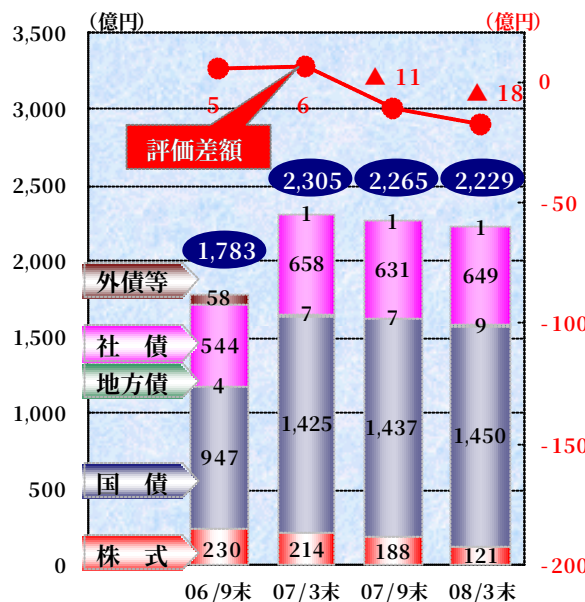


有価証券

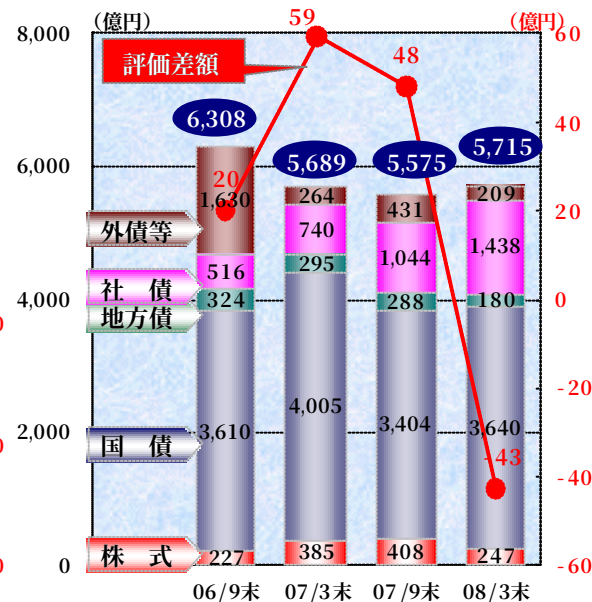
福岡銀行（連結）



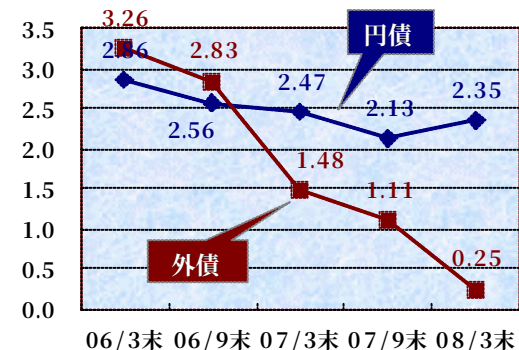
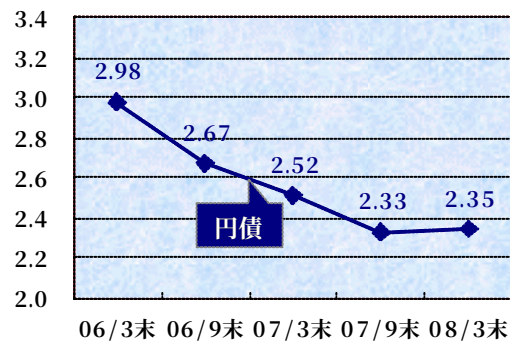
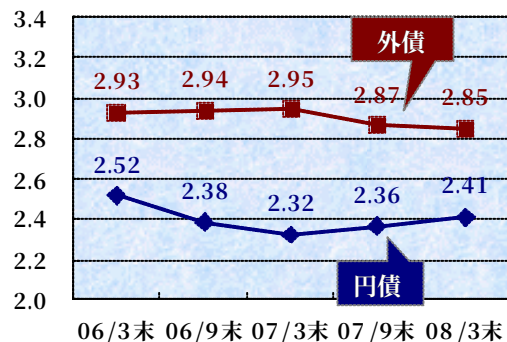
熊本ファミリー銀行（連結）



親和銀行（連結）



デュレーション



開示不良債権

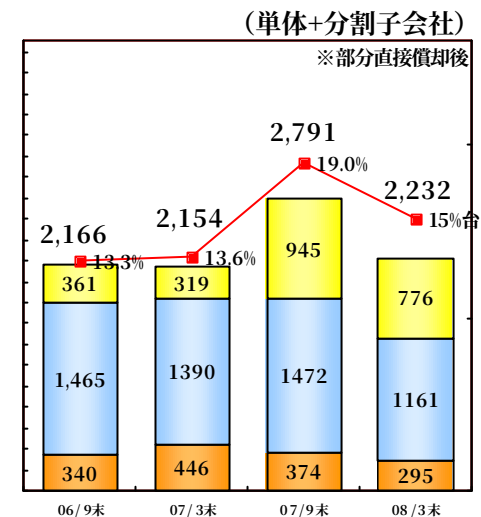
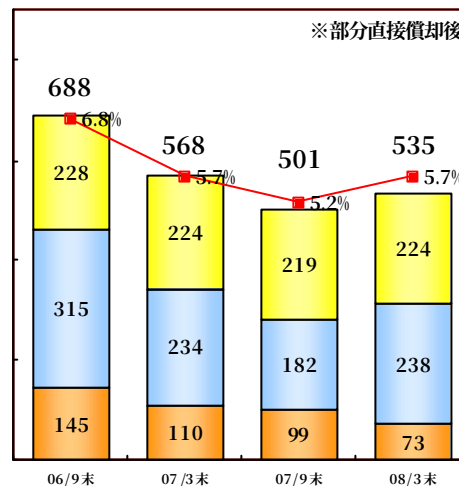
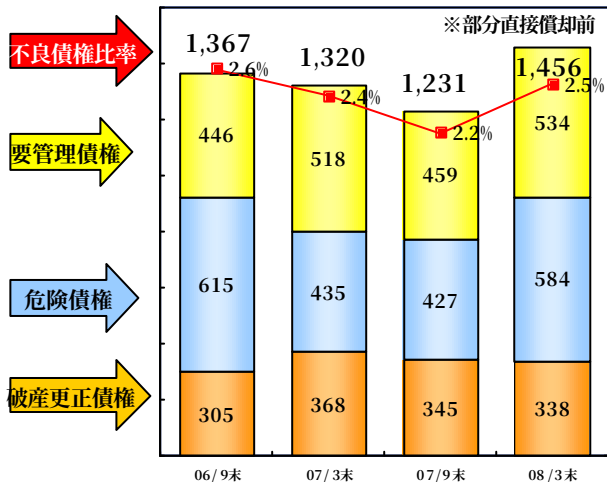
福岡銀行（単体）

熊本ファミリー銀行（単体）

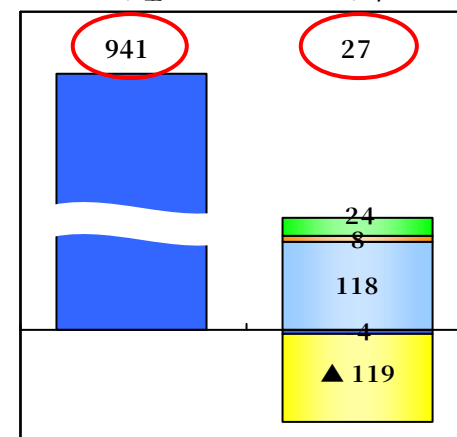
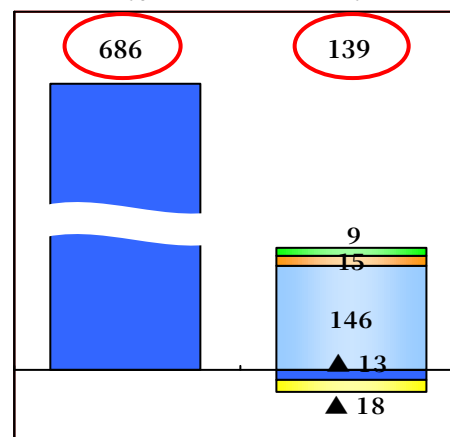
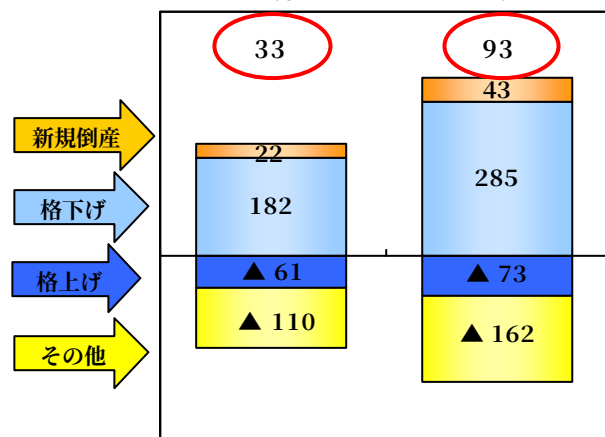
親和銀行（単体+分割子会社）

(億円、%)

不良債権残高・比率



信用コスト



債務者区分遷移：福岡銀行単体

債務者区分の移動状況（2007年3月末→2008年3月末）

（単位：億円）

07年3月末 債務者区分別残高		08年3月末債務者区分（合計 58,547億円）						増減 (ハルク) (回収) (新規)
		破綻先	実質破綻先	破綻懸念先	要注意先		正常先	
					要管理先	要管理以外の要注意先		
破 綻 先	95	→ 70						▲ 24
実質破綻先	274	→ 2	139	1		1	1	▲ 131
破綻懸念先	435	→ 3	16	258	15	12	5	▲ 125
要注意先	要管理先	→ 2	5	74	270	302	0	▲ 33
	要管理以外の要注意先	→ 16	20	96	253	3,892	383	▲ 598
正 常 先	48,136	→ 22	41	154	123	2,911	49,459	
合 計	54,883	116	222	584	660	7,118	49,847	▲ 910

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾 + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金

債務者区分遷移：熊本ファミリー銀行単体

債務者区分の移動状況（2007年3月末→2008年3月末）

（単位：億円）

07年3月末 債務者区分別残高		08年3月末債務者区分（合計 9,421億円）						増減 (ハルク) (回収) (新規)
		破綻先	実質破綻先	破綻懸念先	要注意先		正常先	
					要管理先	要管理以外の 要注意先		
破 綻 先	24	→ 6	0	0	0	0	0	▲ 17
実質破綻先	87	→ 1	22	1	0	0	0	▲ 63
破綻懸念先	234	→ 1	11	102	2	5	0	▲ 113
要注意先	要管理先	→ 1	6	24	128	42	0	▲ 76
	要管理以外の要注意先	→ 1	6	74	104	642	92	▲ 190
正 常 先	8,240	→ 2	16	37	46	950	7,099	▲ 91
合 計	9,970	12	61	238	280	1,639	7,191	▲ 549

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾 + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金



債務者区分遷移：親和銀行（単体+分割子会社）

債務者区分の移動状況（2007年3月末→2008年3月末）

（単位：億円）

07年3月末 債務者区分別残高		08年3月末債務者区分（合計 14,722億円）						増減 (ハルク) (回収) (新規)
		破綻先	実質破綻先	破綻懸念先	要注意先		正常先	
					要管理先	要管理以外の要注意先		
破 綻 先	95	→ 27	1	0	-	1	-	▲ 66
実質破綻先	351	→ 3	80	0	-	-	0	▲ 268
破綻懸念先	1,390	→ 13	75	644	3	10	0	▲ 645
要注意先	要管理先	→ -	12	192	138	3	5	▲ 84
	要管理以外の要注意先	→ 16	23	236	763	816	106	▲ 624
正 常 先	11,039	→ 7	38	88	113	947	9,834	
合 計	15,894	67	229	1,161	1,017	1,776	9,945	▲ 1,687

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾 + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金
+ 銀行保証付私募債

分割子会社（親和コーポレートパートナーズ）については、05年9月に親和銀行を当事者とする会社分割により設立された子会社で、一部貸出金債権等を承継しているため合算して計上



引当・保全状況：福岡銀行単体

要注意先以下の引当・保全状況

●金融再生法開示債権の保全率：72.2%

2008年3月期

() 内は2007年9月末実績

(単位：億円)

債務者区分	残高 A	担保 保証 B	アソカバー C =A-B	引当金 D	債権額に対する		アソカバーに対する		保全率 $\frac{B+D}{A}$
					引当率 D/A	うち DCF先	引当率 D/C	うち DCF先	
破綻先	116	154	184	184	(58.6%)	—	(100%)	—	(100%)
実質破綻先	222				54.5%		100%		100%
破綻懸念先	584	271	313	223	(30.9%) 38.2%	(64.1%) 74.3%	(69.5%) 71.2%	(84.7%) 88.9%	(86.4%) 84.6%
要管理債権	534	98	436	121	(35.2%) 22.7%	(44.7%) 28.1%	(45.6%) 27.8%	(45.6%) 31.7%	(58.0%) 41.1%
開示債権合計	1,456	522	934	529	(40.3%) 36.3%	(50.6%) 46.1%	(66.4%) 56.6%	(60.6%) 53.2%	(79.6%) 72.2%
要管理債権以外 の要注意先債権	7,244	3,681	3,563	105	(1.8%) 1.4%	(7.0%) 7.5%	(3.6%) 2.9%	(20.7%) 17.9%	(53.2%) 52.3%
要注意先 合計	7,778	3,779	3,999	226	(4.0%) 2.9%	(21.0%) 15.1%	(7.8%) 5.7%	(39.2%) 25.5%	(61.0%) 51.5%
要注意先以下 の合計	8,699	4,203	4,496	634	(7.9%) 7.3%	(27.1%) 26.5%	(15.6%) 14.1%	(47.8%) 41.4%	(57.4%) 55.6%



引当・保全状況：熊本ファミリー銀行単体

要注意先以下の引当・保全状況

●金融再生法開示債権の保全率：72.2%

2008年3月期

() 内は2007年9月末実績

(単位：億円)

債務者区分	残高 A	担保 保証 B	アソカパー C =A-B	引当金 D	債権額に対する		アソカパーに対する		保全率 $\frac{B+D}{A}$
					引当率 D/A	うち DCF先	引当率 D/C	うち DCF先	
破綻先	12	55	18	18	(27.1%)	—	100%	—	(100%)
実質破綻先	61				24.1%				100%
破綻懸念先	238	91	148	116	(34.0%) 48.5%	(50.1%) 81.8%	(69.5%) 78.3%	(94.2%) 90.2%	(85.0%) 86.6%
要管理債権	224	50	173	56	(25.8%) 25.2%	(35.9%) 34.6%	(32.7%) 32.5%	(42.6%) 44.6%	(46.9%) 47.7%
開示債権合計	535	196	339	190	(29.0%) 35.4%	(39.0%) 54.4%	(50.3%) 56.0%	(50.2%) 65.5%	(71.3%) 72.2%
要管理債権以外の 要注意先債権	1,695	798	897	61	(4.1%) 3.6%	(24.2%) 17.4%	(6.6%) 6.8%	(45.1%) 58.2%	(42.1%) 50.7%
要注意先 合計	1,919	848	1,070	117	(6.6%) 6.1%	(31.8%) 30.3%	(10.4%) 11.0%	(43.2%) 46.1%	(42.7%) 50.3%
要注意先以下 の合計	2,230	994	1,236	251	(9.9%) 11.2%	(34.6%) 48.5%	(16.2%) 20.3%	(49.1%) 65.0%	(48.9%) 55.8%



引当・保全状況：親和銀行（単体+分割子会社）

要注意先以下の引当・保全状況

●金融再生法開示債権の保全率：81.6%

2008年3月期

（ ）内は2007年9月末実績

（単位：億円）

債務者区分	残高 A	担保 保証 B	アンカバー C =A-B	引当金 D	債権額に対する		アンカバーに対する		保全率 $\frac{B+D}{A}$
					引当率 D/A	うちDCF先	引当率 D/C	うちDCF先	
破綻先	67	154	142	142	(52.4%)	—	(100.0%)	—	(100.0%)
実質破綻先	229				48.0%		100%		100%
破綻懸念先	1,161	383	778	653	(57.5%) 56.3%	(80.9%) 83.3%	(83.6%) 84.0%	(95.6%) 95.7%	(88.7%) 89.3%
要管理債権	776	202	574	288	(35.6%) 37.1%	(41.1%) 41.5%	(49.5%) 50.2%	(50.9%) 51.4%	(63.6%) 63.2%
開示債権合計	2,232	739	1,493	1,083	(49.4%) 48.5%	(62.0%) 61.2%	(73.0%) 72.6%	(74.9%) 73.2%	(81.7%) 81.6%
要管理債権以外の 要注意先債権	2,017	925	1,092	235	(13.7%) 11.7%	(41.2%) 19.4%	(24.8%) 21.6%	(51.3%) 49.0%	(58.5%) 57.5%
要注意先 合計	2,793	1,127	1,666	524	(21.2%) 18.8%	(41.2%) 41.4%	(34.8%) 31.4%	(50.9%) 51.4%	(60.3%) 59.1%
要注意先以下 の合計	4,249	1,663	2,586	1,319	(35.3%) 31.0%	(62.0%) 61.1%	(56.3%) 51.0%	(74.8%) 73.2%	(72.6%) 70.2%

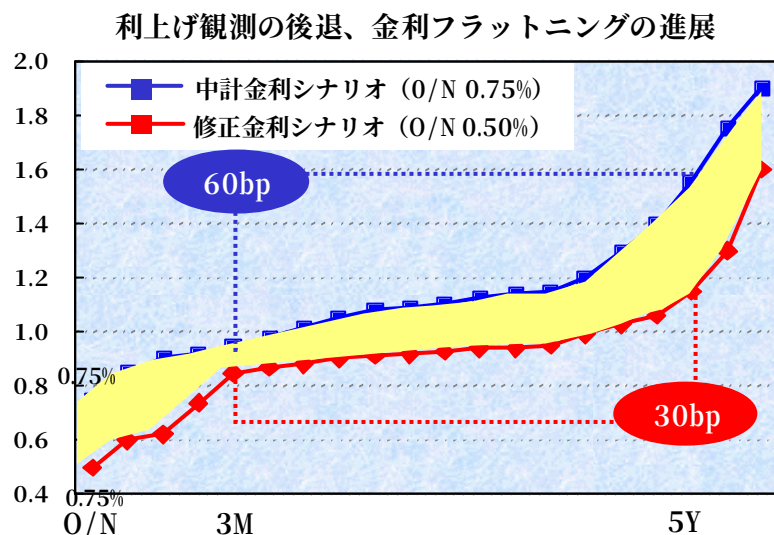
Part III

2008年度の計画概要

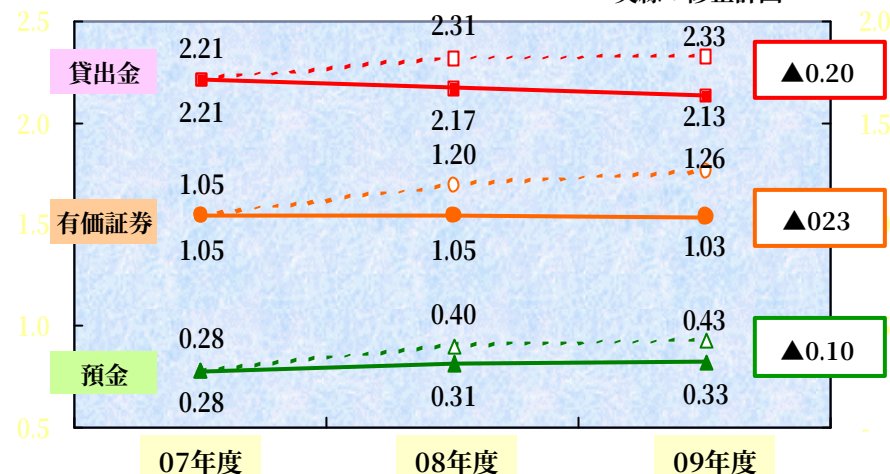
(第二次中期経営計画 2008・2009年度計画)

中期経営計画：前提条件の変更

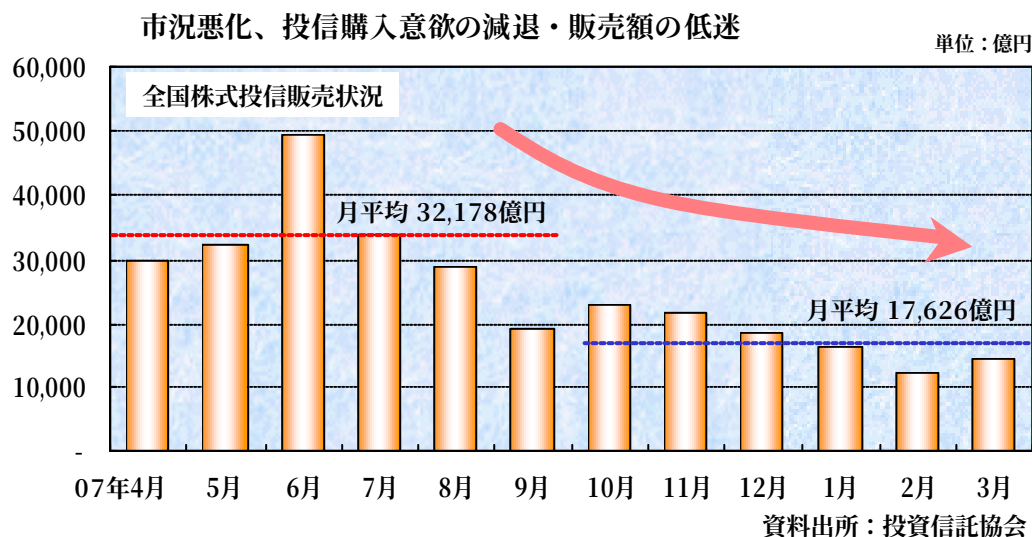
金利シナリオの変更



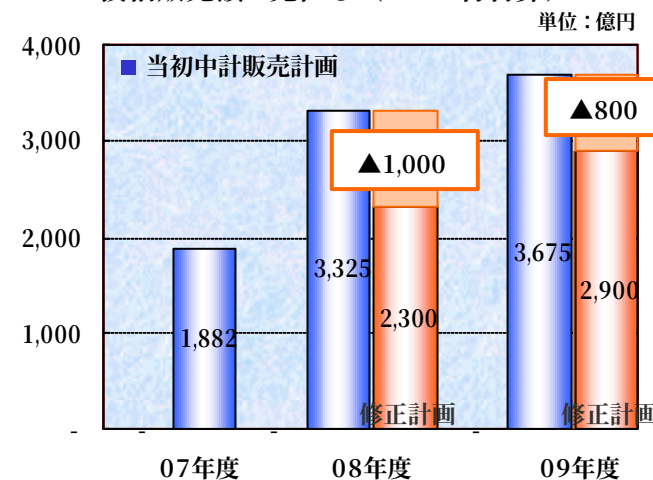
計画利回りへの影響 (FFG 3行合算)
 点線：当初中計計画
 実線：修正計画



投信販売額の見直し



投信販売額の見直し (FFG 3行合算)



中期経営計画：損益計画

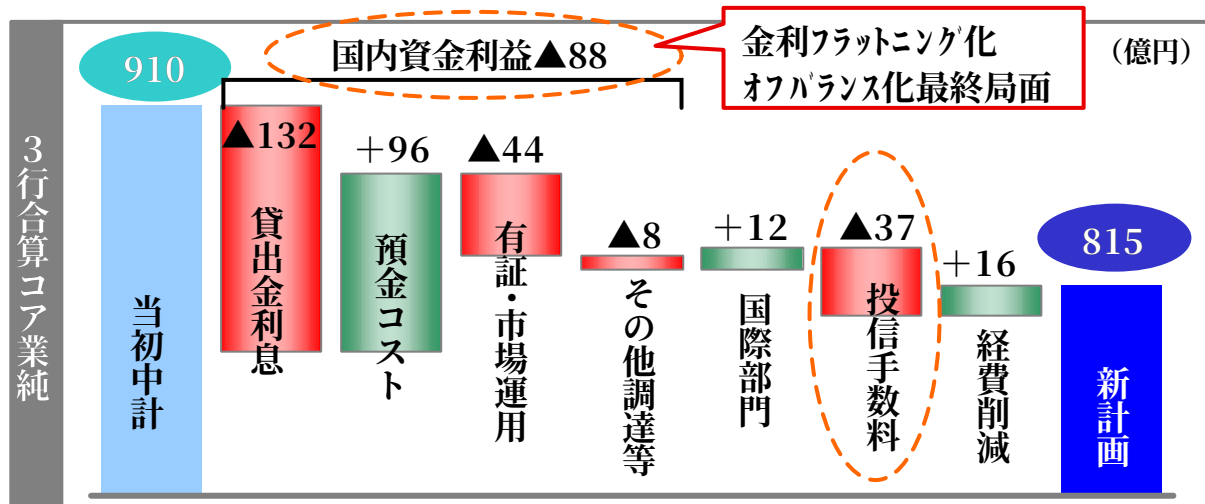
FY09年度（中計最終年度）

- 福岡銀行 : コア業務純益675億円（FY07年度比＋90億円）、当期純利益335億円
- 熊本ファミリー銀行 : コア業務純益90億円（FY07年度比＋8億円）、当期純利益45億円
- 親和銀行 : コア業務純益105億円（FY07年度比▲8億円）、当期純利益50億円

【単位：億円】	3行単体合算		福岡銀行		熊本ファミリー銀行		親和銀行	
	FY08 計画	FY09 計画	FY08 計画	FY09 計画	FY08 計画	FY09 計画	FY08 計画	FY09 計画
業務粗利益	1,978	2,000	1,346	1,375	259	257	374	368
資金利益	1,653	1,653	1,110	1,125	225	221	317	307
役務取引利益	285	307	202	217	29	33	53	57
特定/その他	42	42	35	34	4	4	3	4
経費	1,164	1,116	727	700	169	167	268	248
業務純益	805	885	620	675	80	90	105	120
コア業務純益	815	885	620	675	90	90	105	120
臨時損益	▲196	▲201	▲90	▲100	▲41	▲35	▲65	▲66
経常利益	608	684	530	575	38	55	40	54
特別損益	▲82	▲27	▲33	▲13	▲36	▲10	▲13	▲4
当期純利益	335	430	300	335	5	45	30	50
信用コスト	170	160	80	80	40	30	50	50

中期経営計画：2008年度業績予想（当初中計比）

- 3行合算コア業務純益：815億円（当初中計比▲95億円）
- F F G連結当期純利益：250億円（当初中計比▲135億円） 3行合算当期純利益335億円（▲130億円）



子銀行別2008年度コア業務純益（億円）

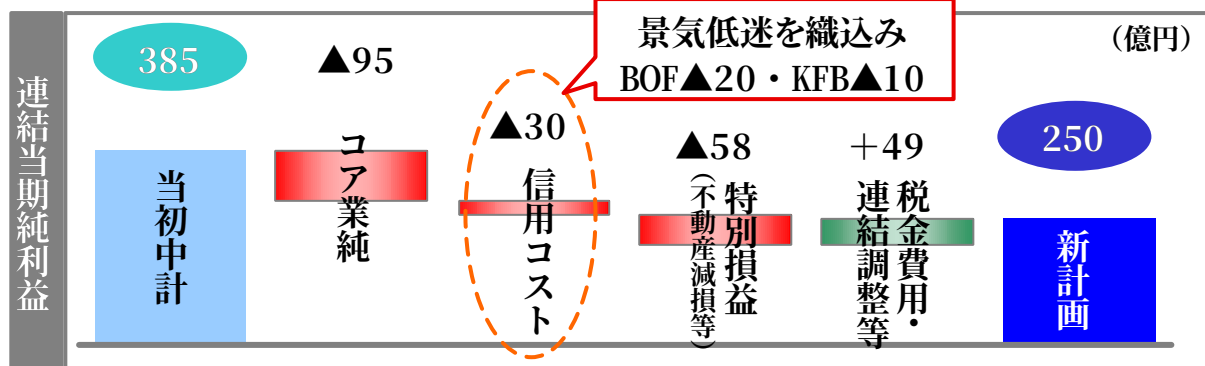
	業績予想	当初中計	変更
BOF	620	685	▲ 65
KFB	90	95	▲ 5
SWB	105	130	▲ 25
3行合算	815	910	▲ 95

子銀行別2008年度当期純利益（億円）

	業績予想	当初中計	変更
BOF	300	360	▲ 60
KFB	5	30	▲ 25
SWB	30	75	▲ 45
3行合算	335	465	▲ 130

のれん代償却 ▲91
その他連結調整等+6

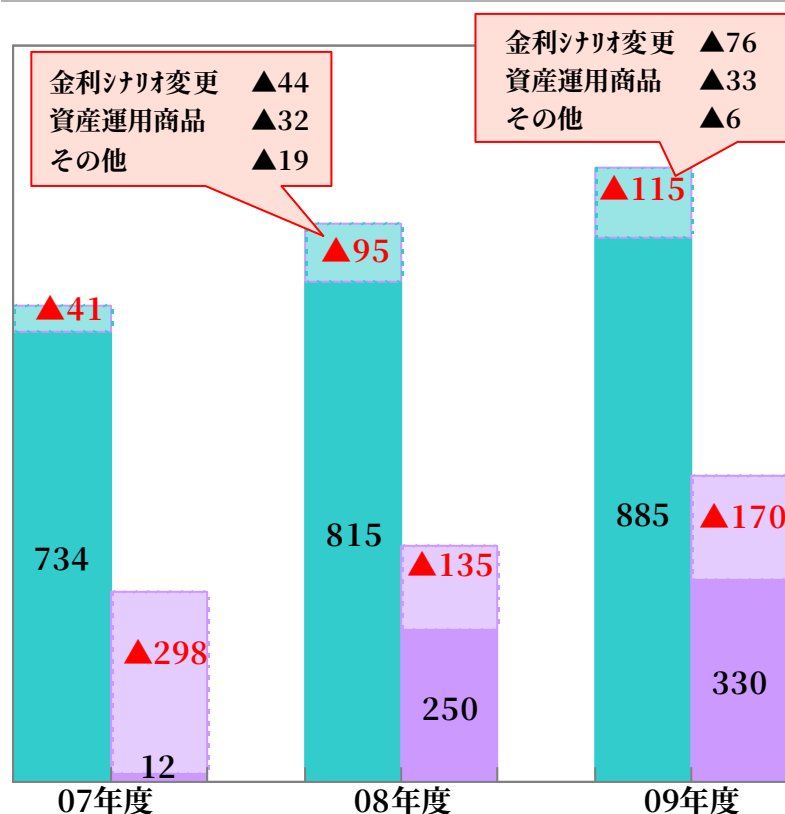
連結当期純利益 250



中期経営計画：計数目標（当初中計比）

- 3行合算コア業務純益：08年度 815億円（当初計画比▲95億円）、09年度 885億円（▲115億円）
⇒金利シナリオ見直し（フラットニング化）と投信販売計画見直しの影響が大半
- F F G連結当期純利益：08年度 250億円（当初計画比▲135億円）、09年度 330億円（▲170億円）

3行合算コア業務純益とF F G連結当期利益（億円）



金利シナリオ

		中計シナリオ	修正シナリオ			変更
		20年度(A)	20上期(B)	20下期	21年度	(B)－(A)
市場金利	O/N	0.75%	0.50%	⇒	⇒	▲0.25%
	3M	0.95%	0.85%	⇒	⇒	▲0.10%
	1Y	1.15%	0.95%	⇒	⇒	▲0.20%
	5年SWAP	1.55%	1.15%	⇒	⇒	▲0.40%
	10年SWAP	1.90%	1.60%	⇒	⇒	▲0.30%
基準金利	普通預金	0.30%	0.20%	⇒	⇒	▲0.10%
	1年定期預金	0.46%	0.39%	⇒	⇒	▲0.07%
	短期プライムレート	2.625%	2.375%	⇒	⇒	▲0.250%

金利シナリオ変更による資金利益への影響

	07年度			08年度		
	預貸金	有価証券	計	預貸金	有価証券	計
BOF	▲14	▲17	▲31	▲31	▲24	▲55
KFB	▲5	▲1	▲6	▲5	▲3	▲8
SWB	▲4	▲3	▲7	▲8	▲5	▲13
3行合算	▲23	▲21	▲44	▲44	▲32	▲76

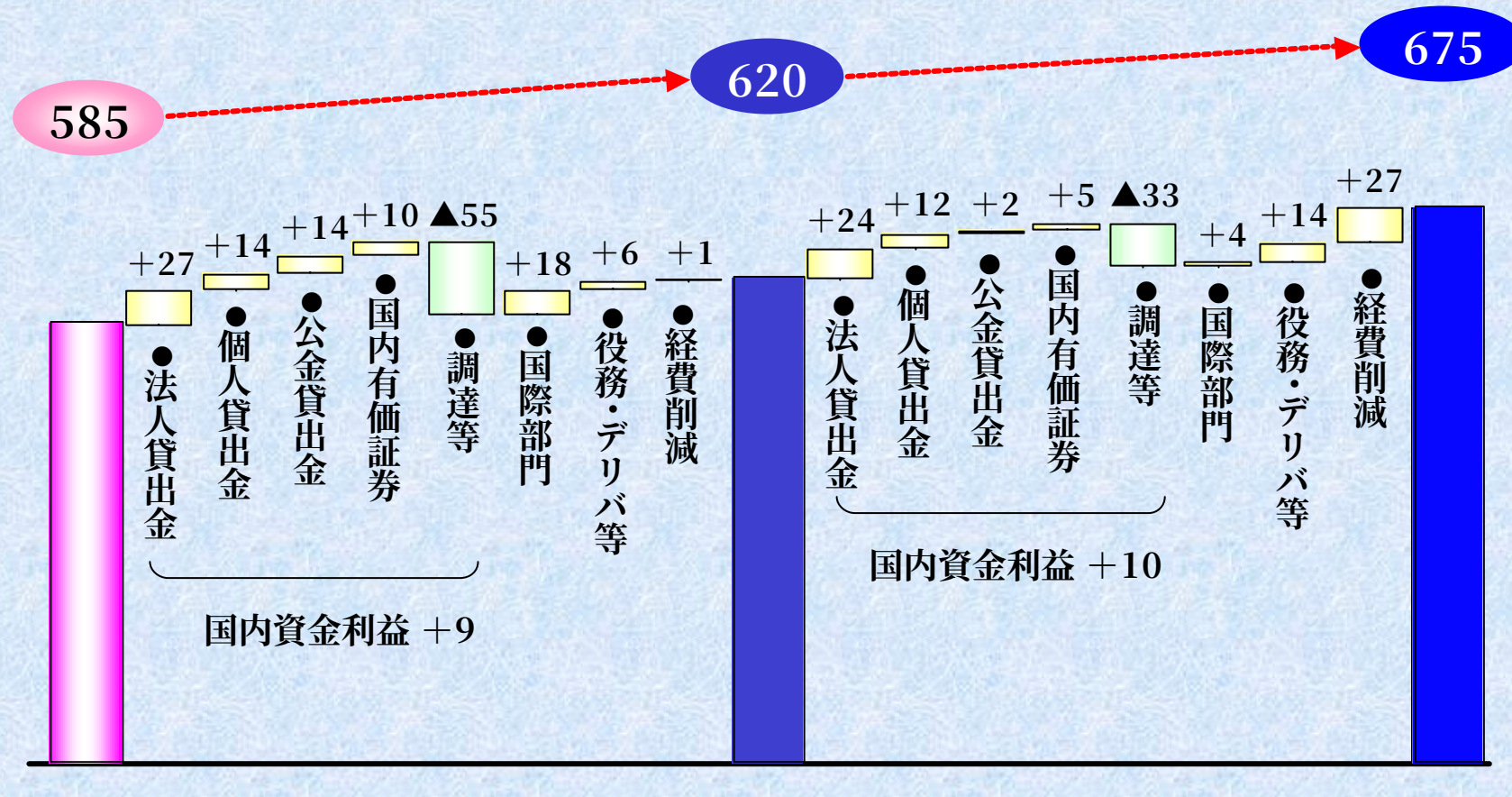
トップラインの推移：福岡銀行

コア業務純益（億円）

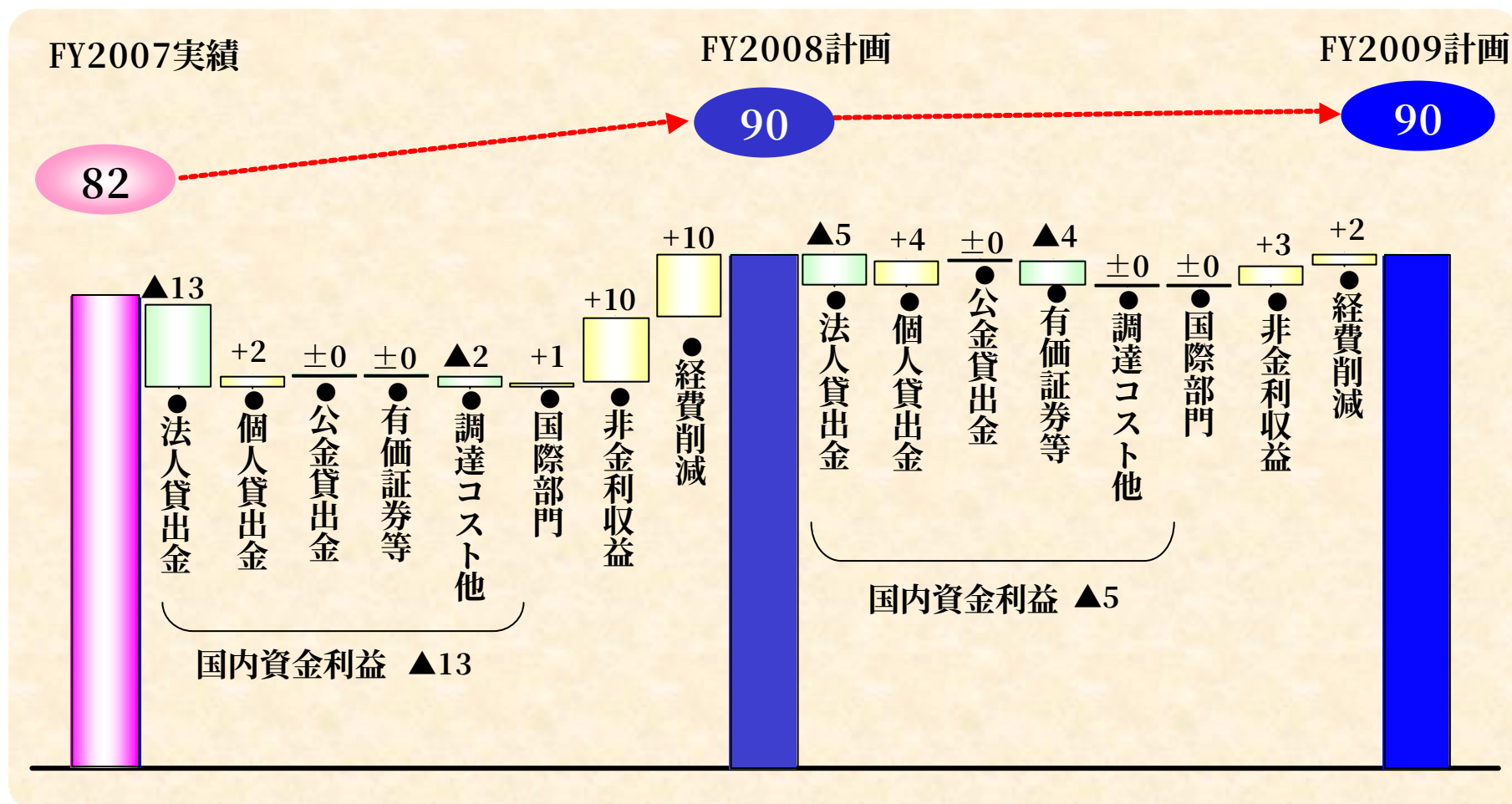
FY2007実績

FY2008計画

FY2009計画



コア業務純益（億円）



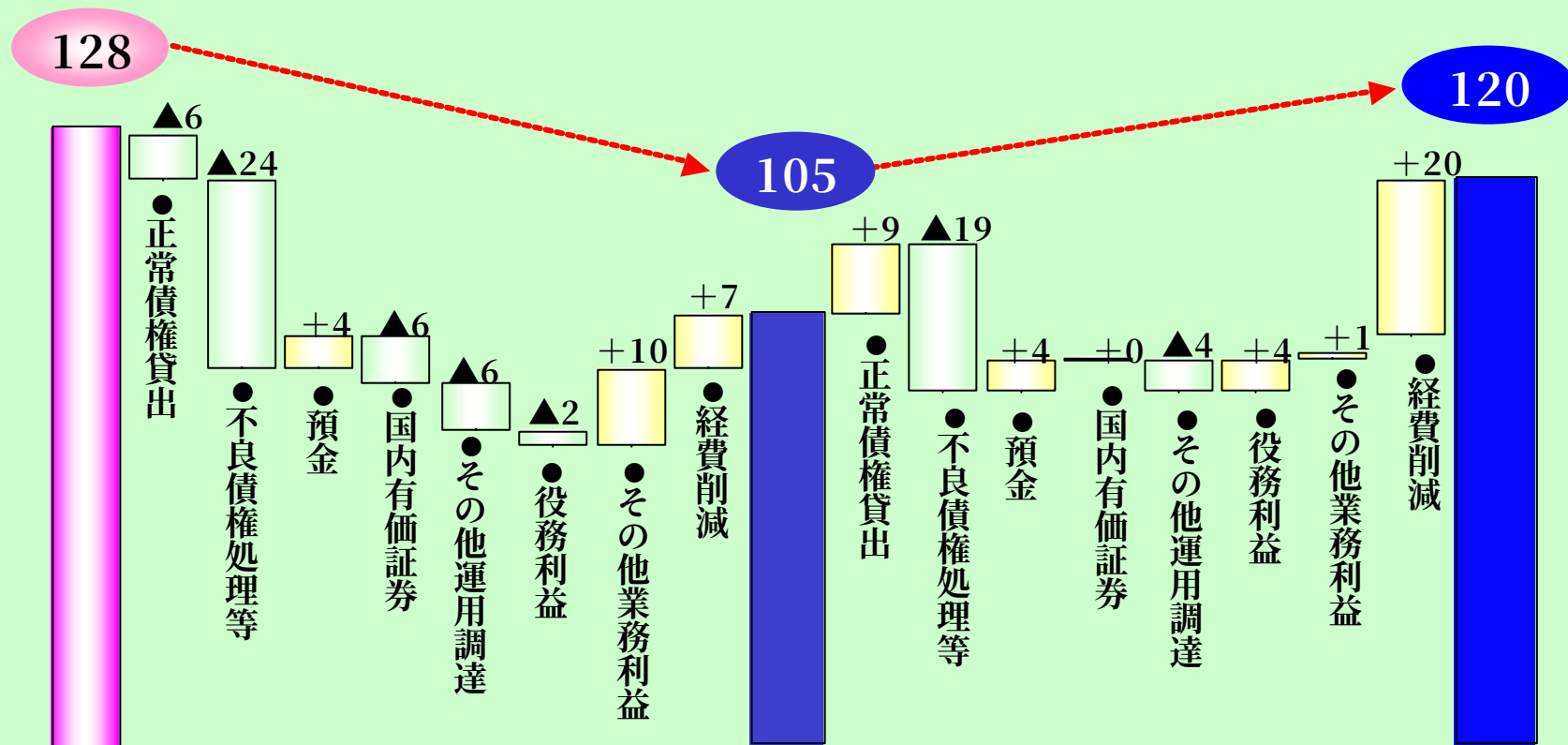
トップラインの推移：親和銀行

コア業務純益（億円）

FY2007実績

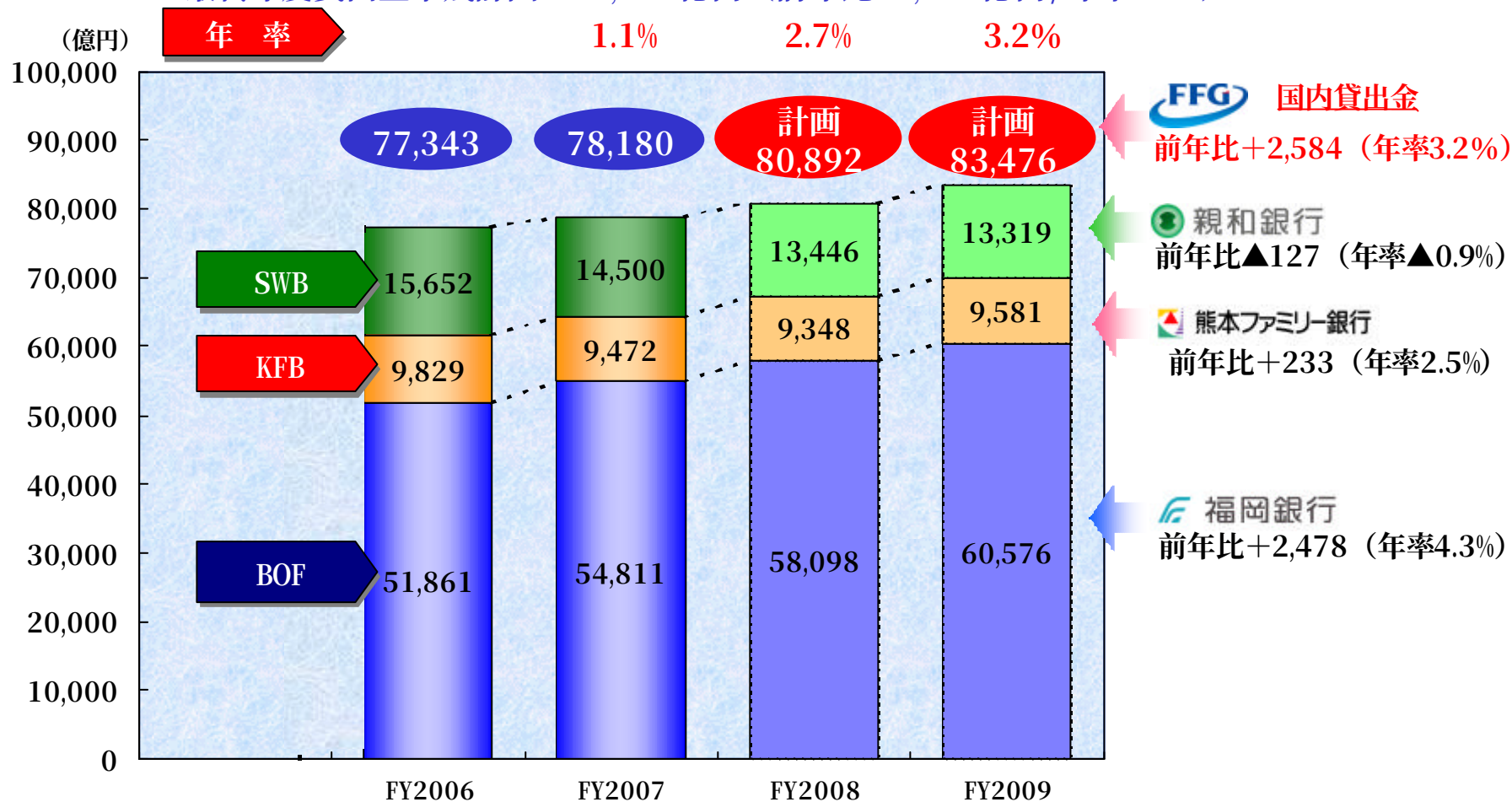
FY2008計画

FY2009計画



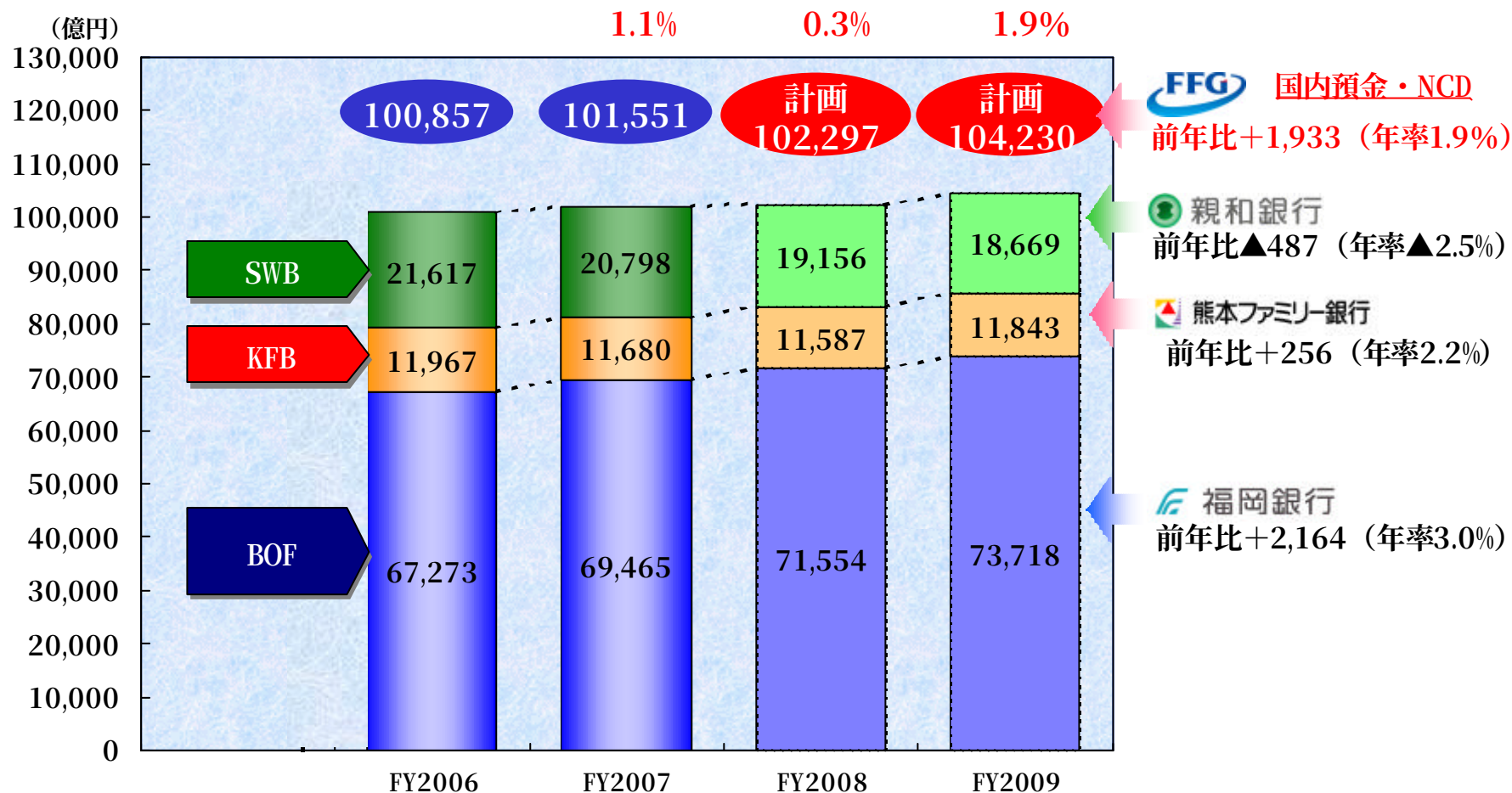
国内貸出金平残（実績・計画）、年率の推移（除く政府向け）

●最終年度貸出金平残計画：83,476億円（前年比+2,584億円/年率3.2%）



国内預金・NCDセグメント別平残（実績・計画）、年率の推移

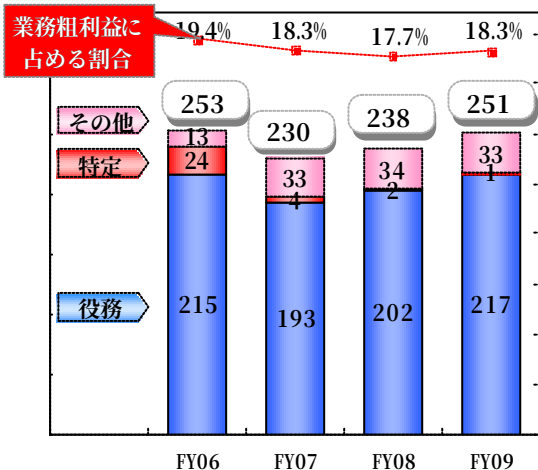
●最終年度預金・NCD平残計画：104,230億円（前年比+1,933億円/年率1.9%）



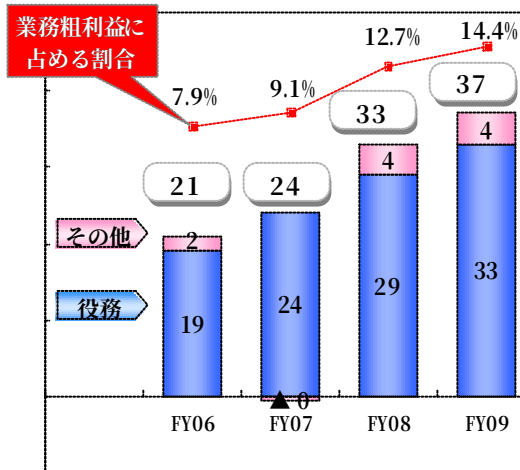
非金利収益

福岡銀行

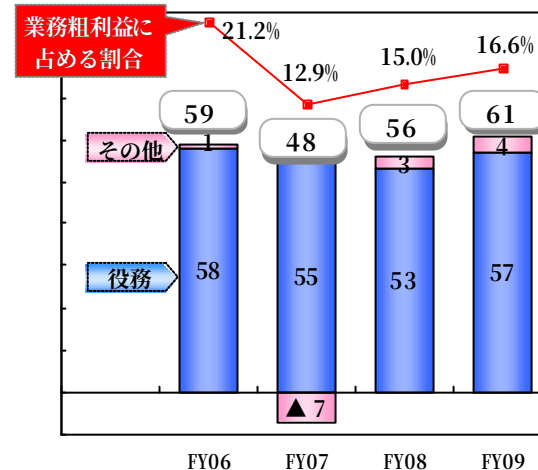
非金利収益



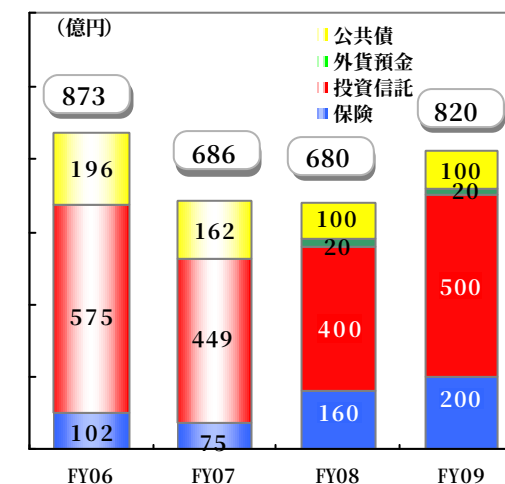
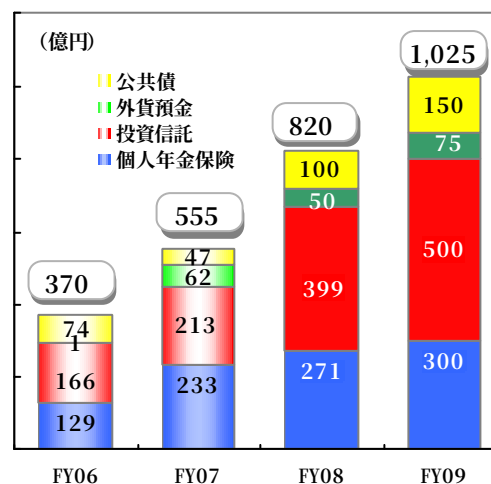
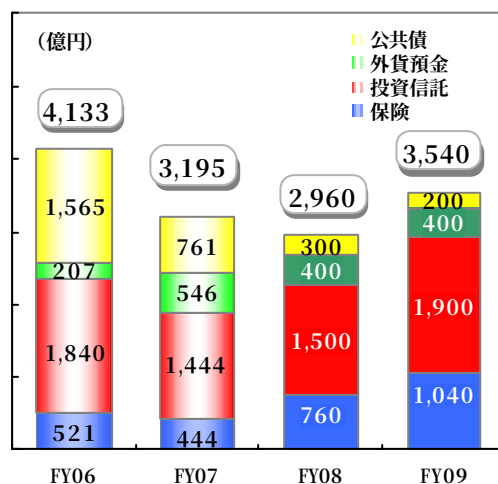
熊本ファミリー銀行



親和銀行



資産運用商品販売額

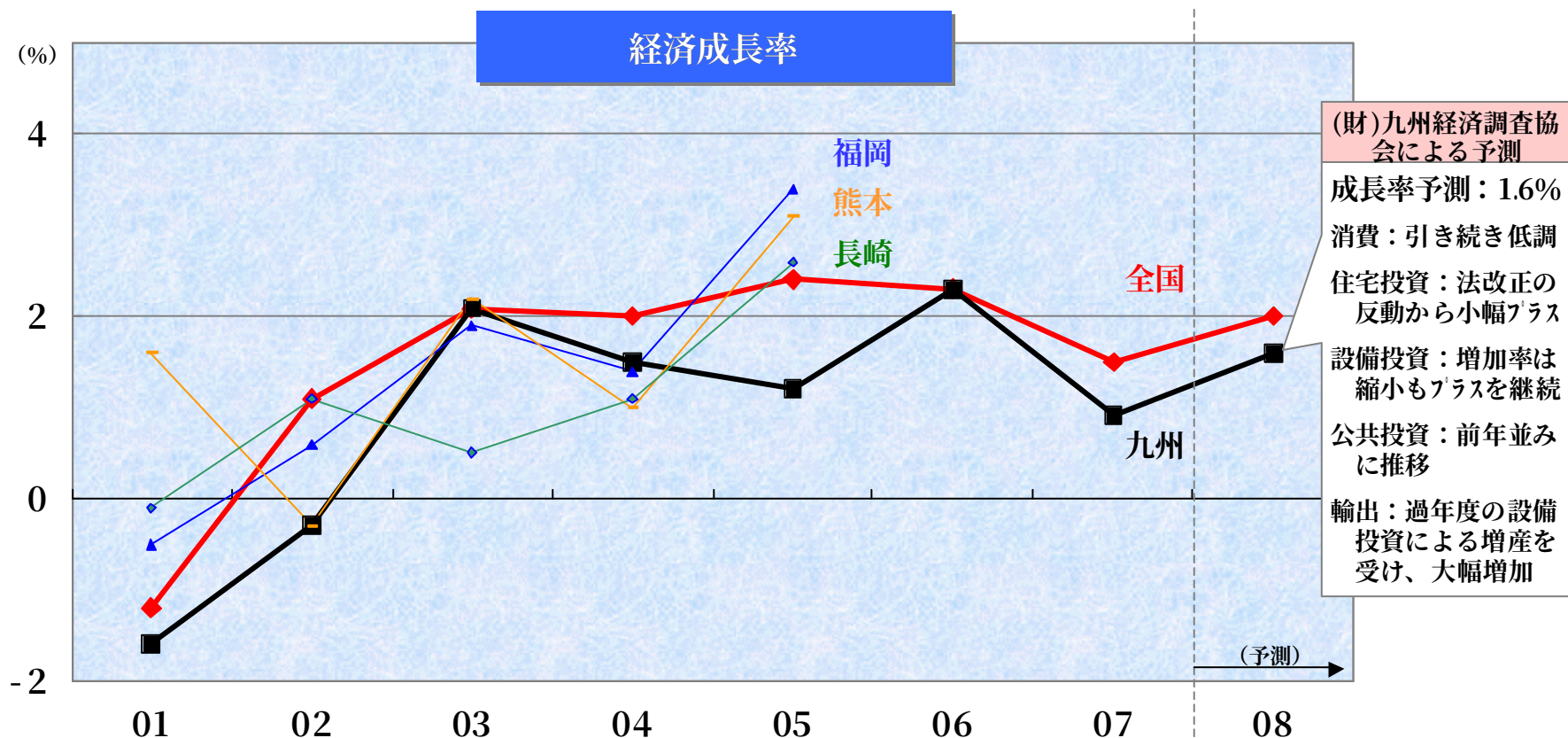


Part IV

マクロ経済指標

全国・九州のマクロ経済

- 2007年度の九州経済は、米国の景気減速による輸出減や改正建築基準法の影響による設備投資需要の先送り等により、0.9%の成長率に留まる。
- 2008年度の九州経済は、過年度の設備投資による増産を受けて輸出が大幅に増加すること等により、1.6%の成長率が予想されている。

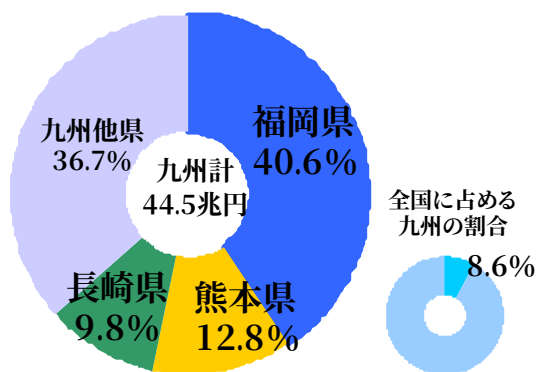


出所：九経調「2007年度九州経済見通し（改訂）」、内閣府、福岡・熊本・長崎県

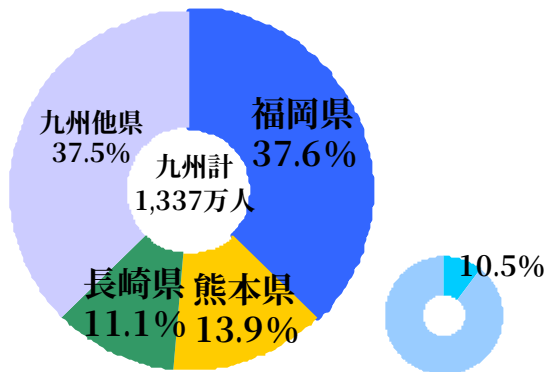
九州圏内の県別シェア

- 県内総生産・人口・事業者数は、福岡県が約4割、福岡・熊本・長崎の3県合計で6割以上を占める。
- 貸出金・預金・商業販売額は、福岡県が約5割、福岡・熊本・長崎の3県合計で7割以上を占める。

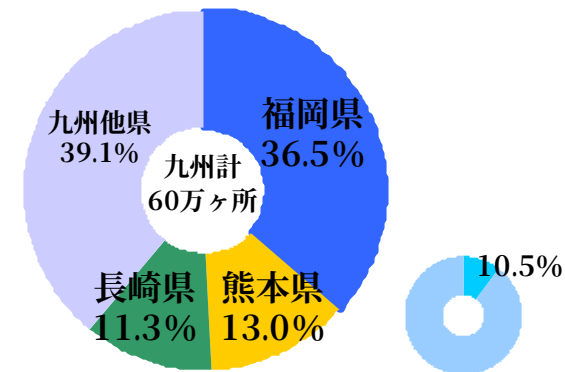
県内総生産(05年)



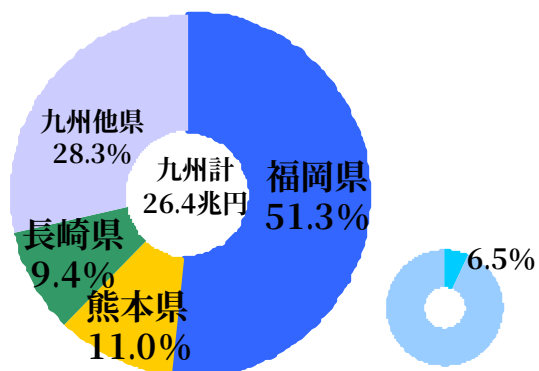
人口(07年)



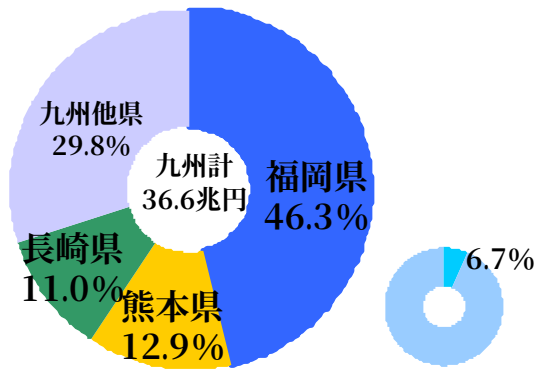
事務所数(06年)



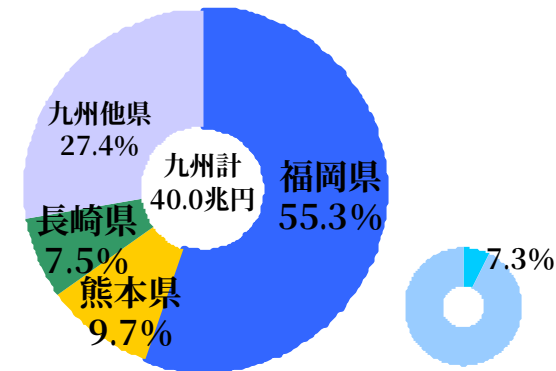
貸出金(08年3月末)



預金(08年3月末)



商業販売額(07年)



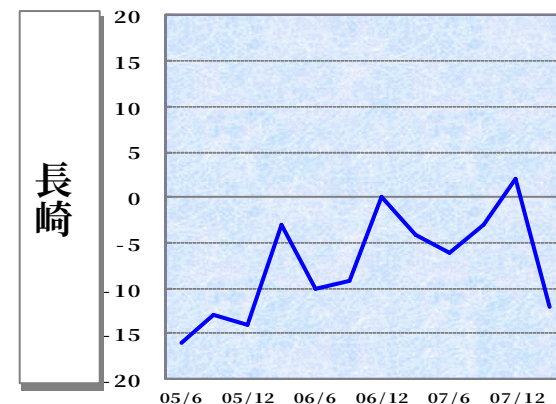
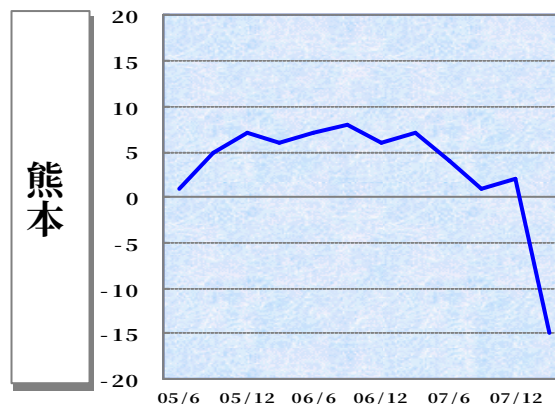
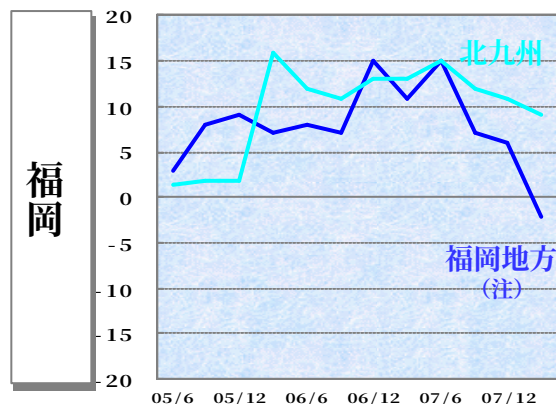
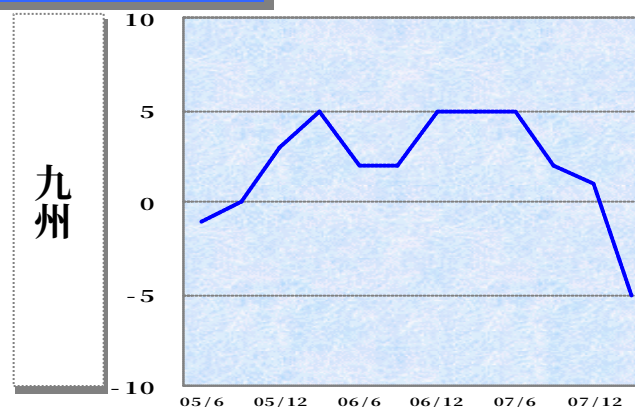
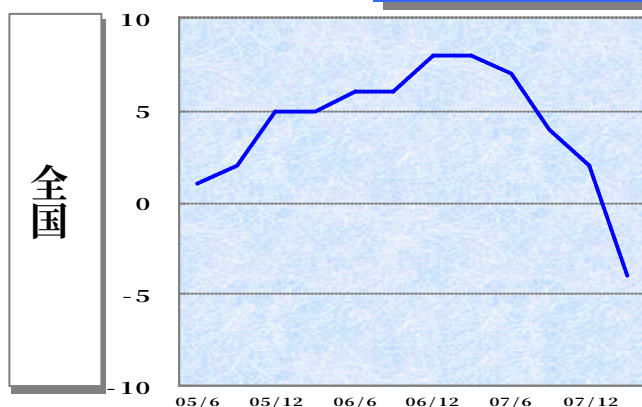
出所：西日本新聞社「九州データブック2007」、日本銀行

D I (景気動向指数)

- 全国・九州のD Iは、2007年第2四半期以降低下を続けている。
- 福岡県のD Iは2007年第2四半期以降低下を続けており、熊本・長崎県のD Iは2007年第4四半期に急激に低下している。

業況D I

出所：日本銀行

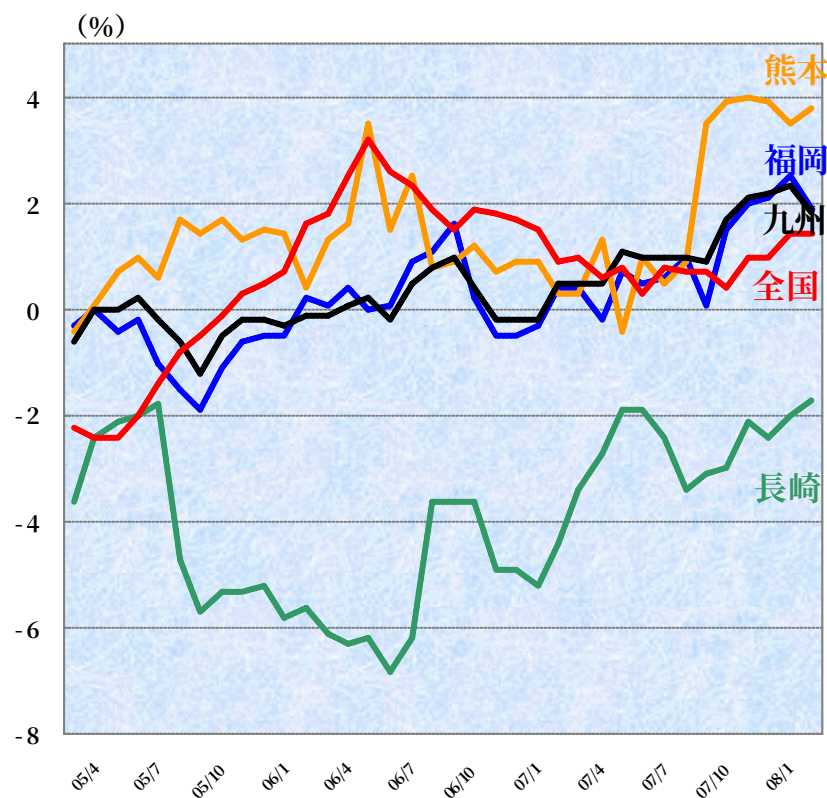


(注) 福岡地方とは、福岡県から北九州を除き佐賀を加えた範囲

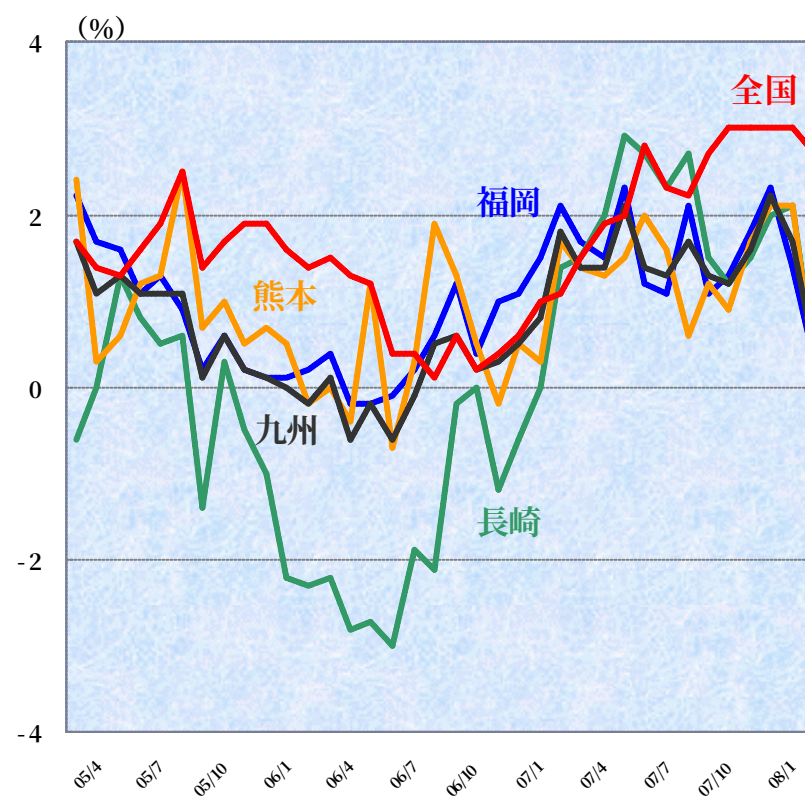
貸出金・預金

- 貸出金は、九州及び福岡・熊本県の増加率が全国を上回っている。長崎県は依然減少を続けているが、減少幅は縮小傾向となっている。
- 預金は、九州及び福岡・熊本・長崎県の増加率が全国に比し、低い水準に留まっている。

銀行貸出金増加率（前年同月比）



銀行預金増加率（前年同月比）



出所：日本銀行

地価動向

- 全国平均は、2年連続で上昇となったが、都心部を中心に上昇幅が縮小した地点が現われている。
- 福岡県・熊本市では商業地がプラスに転じ、福岡市は商業地が2年連続で二桁の大幅な上昇率を見せている。
- 九州他県や他の主要都市では、依然下落が続けているが、下落幅は縮小傾向となっている。

<国土交通省：平成20年地価公示に基づく地価動向について>

平成19年1月以降の1年間の地価動向は、全国平均で見ると、住宅地及び商業地ともに2年連続で上昇となった。三大都市圏において平均で上昇幅が拡大したものの、都心部を中心に上昇幅が縮小した地点が現れた。また、地方圏においては、下落幅は縮小したものの、依然として下落地点が大半を占めた。

(国土交通省 2008年3月25日発表)

標準地価変動率

(単位：%)

	住宅地			商業地		
	07年	08年	増減	07年	08年	増減
全国	0.1	1.3	1.2	2.3	3.8	1.5
東京	8.0	9.1	1.1	13.9	15.8	1.9
3大都市圏	2.8	4.3	1.5	8.9	10.4	1.5
福岡	▲ 2.6	▲ 1.5	0.9	▲ 0.4	1.4	2.0
佐賀	▲ 2.1	▲ 2.1	0.0	▲ 3.8	▲ 3.3	0.5
長崎	▲ 4.4	▲ 3.4	1.0	▲ 6.0	▲ 4.1	1.9
熊本	▲ 4.4	▲ 3.0	1.4	▲ 5.6	▲ 3.2	2.4
大分	▲ 4.6	▲ 3.2	1.4	▲ 4.4	▲ 3.5	0.9
宮崎	▲ 1.0	▲ 0.8	0.2	▲ 2.8	▲ 2.4	0.4
鹿児島	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 0.1	▲ 3.2	▲ 3.1	0.1
山口	▲ 3.8	▲ 3.1	0.7	▲ 4.6	▲ 3.7	0.9

福岡県内主要都市基準地価変動率

	住宅地		商業地	
	07年	08年	07年	08年
福岡市	0.4	1.3	12.9	13.6
北九州市	▲ 4.4	▲ 3.5	▲ 7.5	▲ 4.9

熊本県内主要都市基準地価変動率

	住宅地		商業地	
	07年	08年	07年	08年
熊本市	▲ 4.6	▲ 2.4	▲ 3.5	0.3
八代市	▲ 4.9	▲ 3.7	▲ 9.1	▲ 7.8

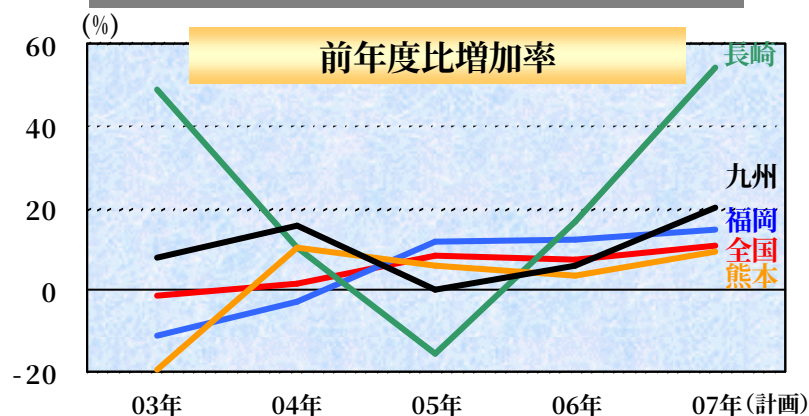
長崎県内主要都市基準地価変動率

	住宅地		商業地	
	07年	08年	07年	08年
長崎市	▲ 4.7	▲ 2.6	▲ 5.0	▲ 1.5
佐世保市	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 4.9	▲ 3.8

設備投資・住宅投資

- 設備投資は、2007年度において九州及び福岡・長崎県が、製造業の積極的な投資姿勢及び電力供給設備への投資増などから、全国を上回る増加率を見せている。
- 新設住宅着工数は、2007年度において改正建築基準法の影響で分譲マンションの着工数が大幅に減少したことにより、全国・九州及び福岡・熊本・長崎県共に大幅に減少している。

設備投資動向

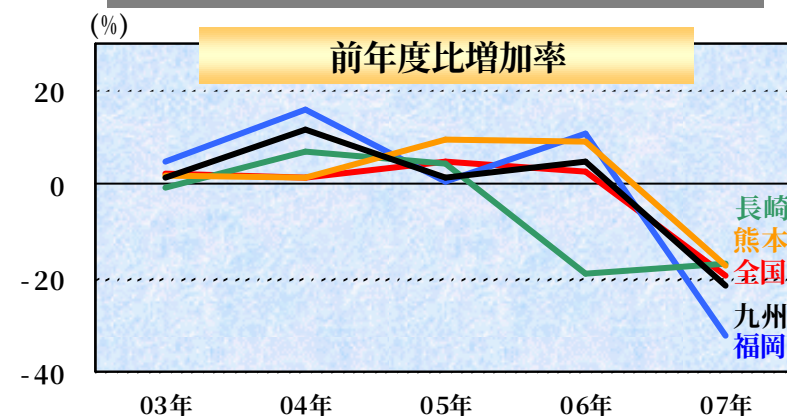


製造業/非製造業別内訳

	06年度実績			07年度計画		
	全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業
全国	7.7	12.0	4.9	11.0	13.5	9.2
九州	5.8	19.3	▲ 5.2	20.3	26.5	13.8
福岡	12.2	33.6	0.5	14.9	4.1	22.7
熊本	3.5	40.7	▲ 23.7	9.4	14.9	1.3
長崎	16.7	15.6	17.8	54.4	116.7	▲ 5.8

出所：日本政策投資銀行「設備投資計画調査」(2007年6月)

着工新設住宅戸数



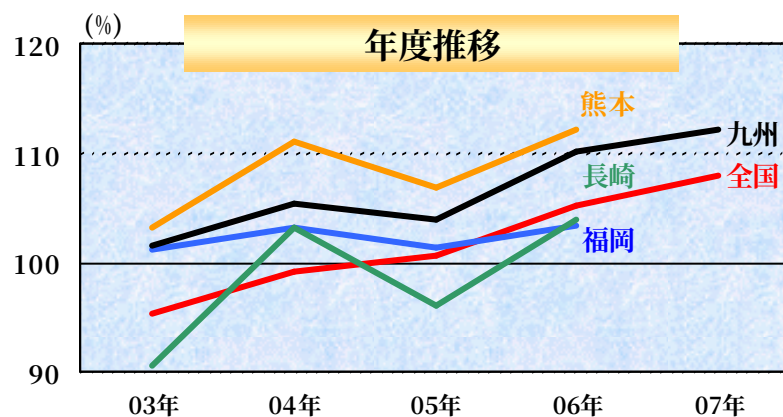
利用関係別内訳 (対前年度比増加率)

	総数	持家	貸家等	分譲 (マンション)	分譲 (戸建)
全国	▲ 19.4	▲ 12.3	▲ 19.4	▲ 34.0	▲ 12.5
九州	▲ 21.8	▲ 8.6	▲ 21.9	▲ 49.8	▲ 3.9
福岡	▲ 31.8	▲ 8.8	▲ 52.4	▲ 51.2	▲ 0.6
熊本	▲ 17.4	▲ 8.1	▲ 12.7	▲ 66.4	▲ 2.6
長崎	▲ 16.5	▲ 16.2	▲ 5.9	▲ 58.2	▲ 12.0

出所：国土交通省

- 鉱工業生産指数は、九州が全国を上回る水準で推移している。特に輸送機械工業が大きく貢献している。
- 輸出通関実績は、2007年度において九州・福岡県が全国平均を上回る増加率を見せている。特にアジア向け輸出の増加が著しい。

鉱工業総合生産指数

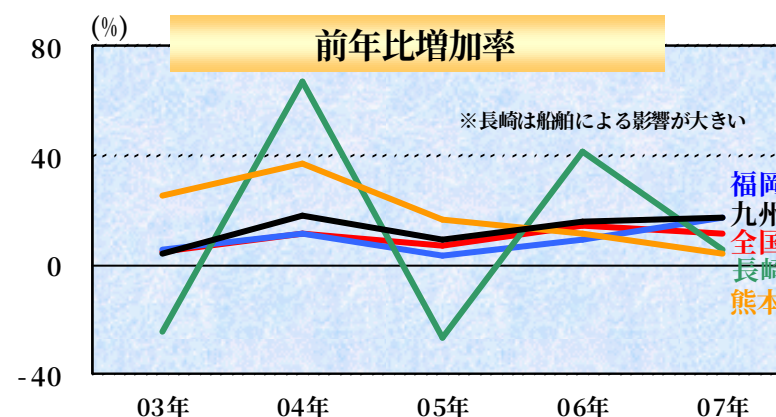


業種別内訳

九州の 鉱工業指数	2007年度	2008年度	対前年度 比	(参考) 全国 の鉱工業指数
全産業	110.2	112.1	1.9	108.0
(一般機械工業)	108.5	105.4	▲ 3.1	109.2
(電子部品・ デバイス工業)	112.5	110.0	▲ 2.5	133.3
(輸送機械工業)	155.4	172.8	17.4	114.3
(食料品・たばこ 工業)	109.7	110.0	0.3	100.1

出所：経済産業省、福岡・熊本・長崎県

輸出通関実績



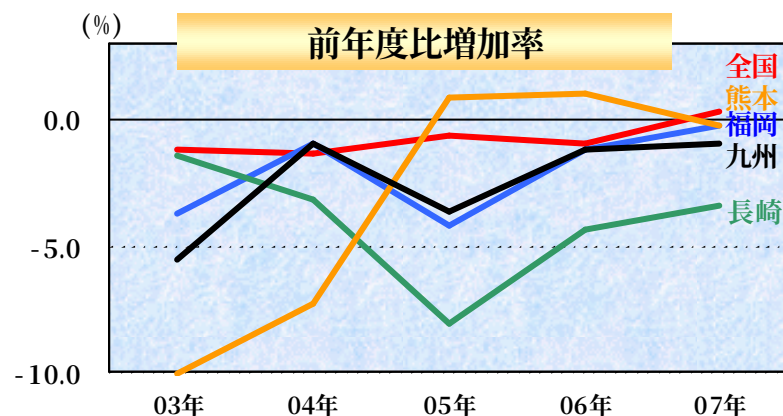
輸出先国別内訳

九州全体の 輸出	2007年 (億円)	対前年比 増加率	全世界に 占める割合
全世界	80,751	15.2%	100.0%
アジア	45,626	21.7%	56.5%
(うち韓国)	12,154	16.1%	15.1%
(うち中国)	15,608	44.3%	19.3%
米州	17,134	3.4%	21.2%
欧州・その他	17,991	12.1%	22.3%

出所：門司税関

- 百貨店・スーパー販売額は、九州及び福岡・長崎県が減少を続けている。特に百貨店販売額の減少が著しい。
- 公共工事受注額は、九州及び長崎県が前年に続き減少している。特に地方の機関による発注工事の減少が著しい。

百貨店・スーパー販売額

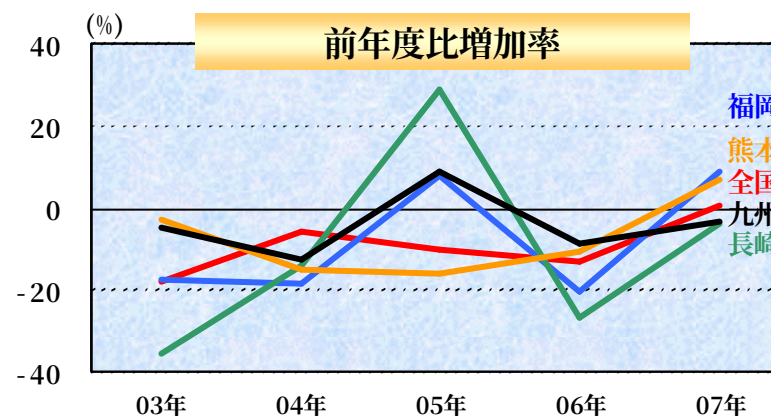


百貨店/スーパー別内訳

	2007年度 (対前年度比増加率)	百貨店/スーパー別内訳	
		百貨店	スーパー
全国	0.4	▲ 2.1	2.1
九州	▲ 1.2	▲ 3.9	0.8
福岡	▲ 0.9	▲ 4.7	2.8
熊本	▲ 1.1	-	-
長崎	▲ 2.3	▲ 3.8	▲ 1.6

出所：経済産業省

公共工事受注額



発注元別内訳

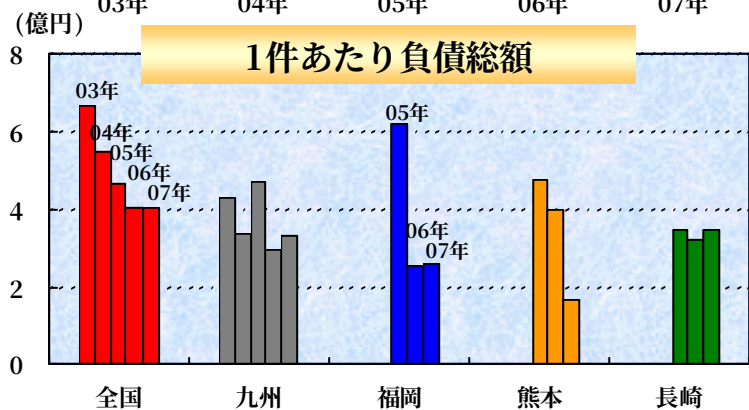
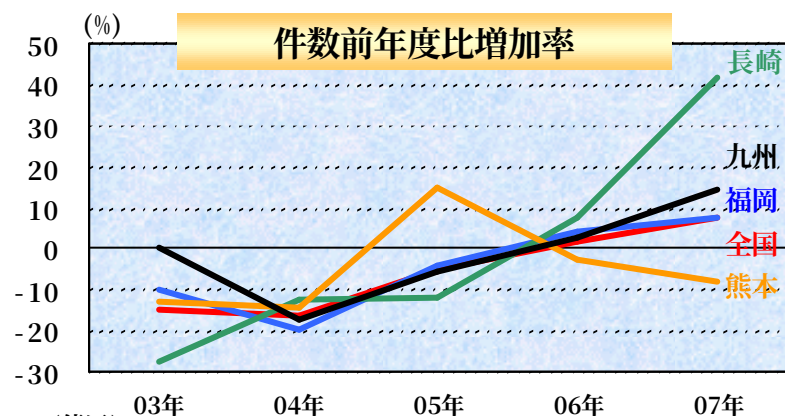
	2007年度 (対前年度比増加率)	発注元別内訳	
		国の機関	地方の機関
全国	0.5	16.9	▲ 24.9
九州	▲ 3.5	23.2	▲ 16.9
福岡	6.9	4.9	7.4
熊本	8.9	46.5	▲ 7.5
長崎	▲ 3.4	91.0	▲ 39.1

出所：国土交通省

企業倒産・雇用

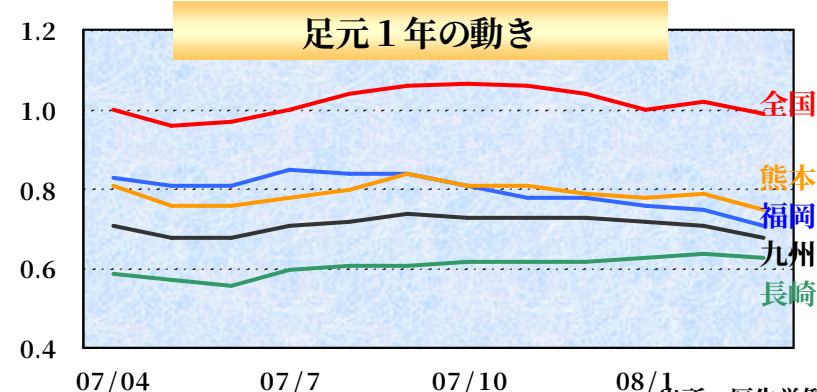
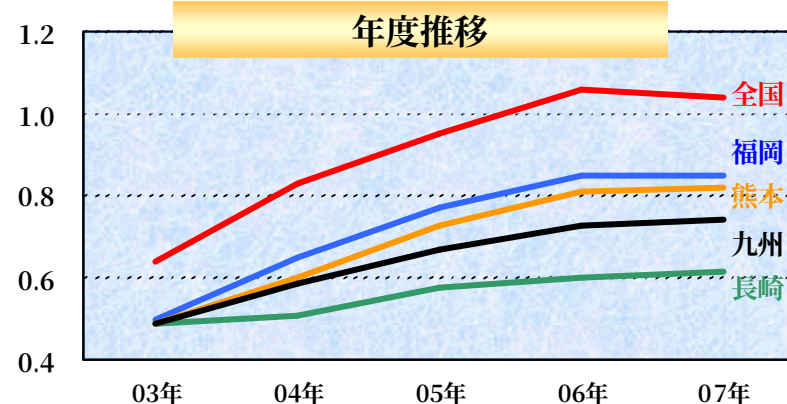
- 企業倒産件数は、2007年度において九州及び長崎県が、全国を上回る増加率を示している。1件当たり負債総額は、全国及び熊本県において低下傾向となっている。
- 有効求人倍率は、九州及び福岡・熊本・長崎県が全国を下回る水準で推移し、足元は若干の下落傾向となっている。

企業倒産



出所：東京商工リサーチ

有効求人倍率



出所：厚生労働省



本日の会社説明会に関するご照会先

株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部

- 電 話 0 9 2－7 2 3－2 5 0 2
- F A X 0 9 2－7 2 1－5 7 9 8
- E-mail ffg-ir@fukuoka-fg.com
- H P <http://www.fukuoka-fg.com>
- 担当者 横田、廣田、藤井、井上、東

本日は、弊社会社説明会にご参加いただきましてありがとうございます。

本日配布いたしました資料に記述されている将来の業績予想等につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。

なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。